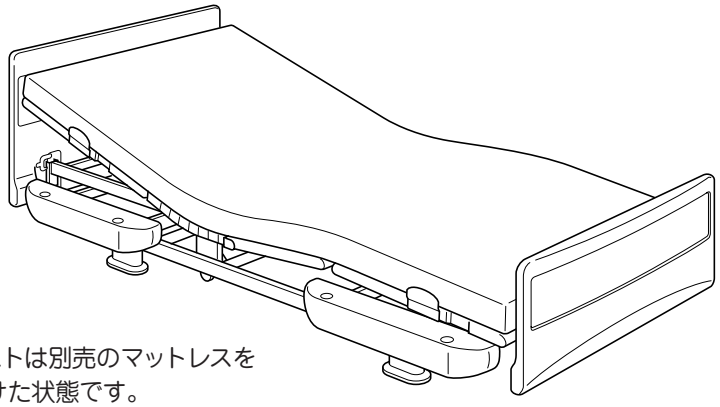
PARAMOUNT BED

取扱説明書

7F00061700A4

在宅ケアベッド 楽匠



※イラストは別売のマットレスを
取付けた状態です。

まえがき

このたびは、**在宅ケアベッド楽匠** をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項、組立・分解の方法や使用方法などを記載しています。

- **ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。**
- ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- **この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。**
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社まで、お問い合わせください。

パラマウントベッド株式会社

もくじ／使用目的

ページ

1 主要部分のなまえ ……3

2 安全に使用するための注意事項 ……4〜10

3 仕様 ……11〜13

4 ベッドの使用方法 ……14

5 動作の説明 ……15〜16

6 手元スイッチの使いかた ……17〜21

7 背膝連動切換操作について（2モーターシリーズ） ……22

8 ユニットの組合せ ……23〜25

9 開梱と部品の確認 ……26〜27

10 設置について ……28

11 ベッドの組立方法

1.脚座の取付け ……29

2.「キャスター・ハイトスペーサー」(別売)の取付け ……30〜31

3.駆動部の取付け ……32〜33

4.アクセサリー枠の取付け ……34〜35

5.キューマボトムの取付け ……36

6.背ボトムの取付け ……37

7.足ボトムの取付け ……38

8.マットレス止めの取付け ……39

9.ヘッドボード・フットボードの取付け ……40

12 組立て後の点検 ……41〜42

13 マットレスの使用方法とご注意 ……43

14 オプションの取付けとご注意

1.介助バー・サイドレール・サイドサポートについて……44〜45

2.オーバーテーブル・キャスター・ハイトスペーサーについて ……45

15 介護リフト使用時のご注意 ……46

16 手動による背さげ操作（停電・故障時などの対応）

1.背さげのしかた ……47

2.戻しかた……48

ページ
17 日常のお手入れ ……49
18 故障かな？と思ったら ……50
19 長期保管と移動（移設）について ……51
20 ベッドの分解方法
1.オプション・寝具の取外し ……52
2.手元スイッチの操作 ……52
3.ヘッドボード・フットボードの取外し ……53
4.マットレス止めの取外し ……53
5.足ボトムの取外し ……54
6.背ボトムの取外し ……55
7.キューマボトムの取外し ……55
8.アクセサリー枠の取外し ……56
9.駆動部の取外し……57～58
10.付属部品と分解したユニットの保管 ……59
21 アフターサービスについて ……60～61

使用目的・特長

■楽匠はご家庭で介護を行うことを目的として作られたベッドです。
ご使用上、次のような特長があります。

1.伸びてやさしく曲がるキューマラインを採用
●背をあげた時の腹部の圧迫感を軽減、背をあげた時の快適さが増しました。

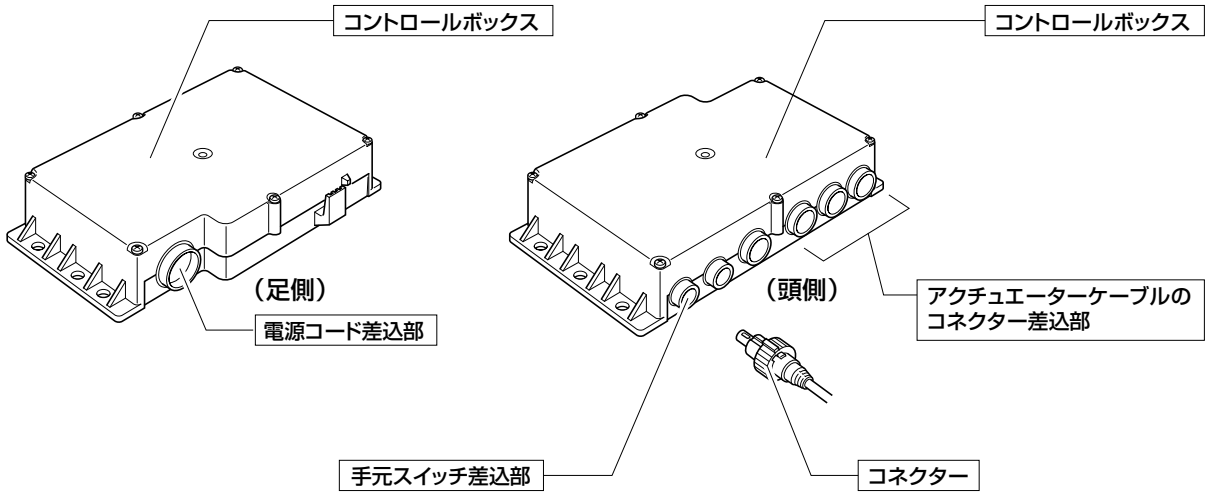
2.手元スイッチ操作でベッドポジションを自在にコントロール
●ボタン操作で適切な体位がとれます。また、介護する方の負担を軽減します。
●背あげ、高さ調節の速度を2段階に調節できます。

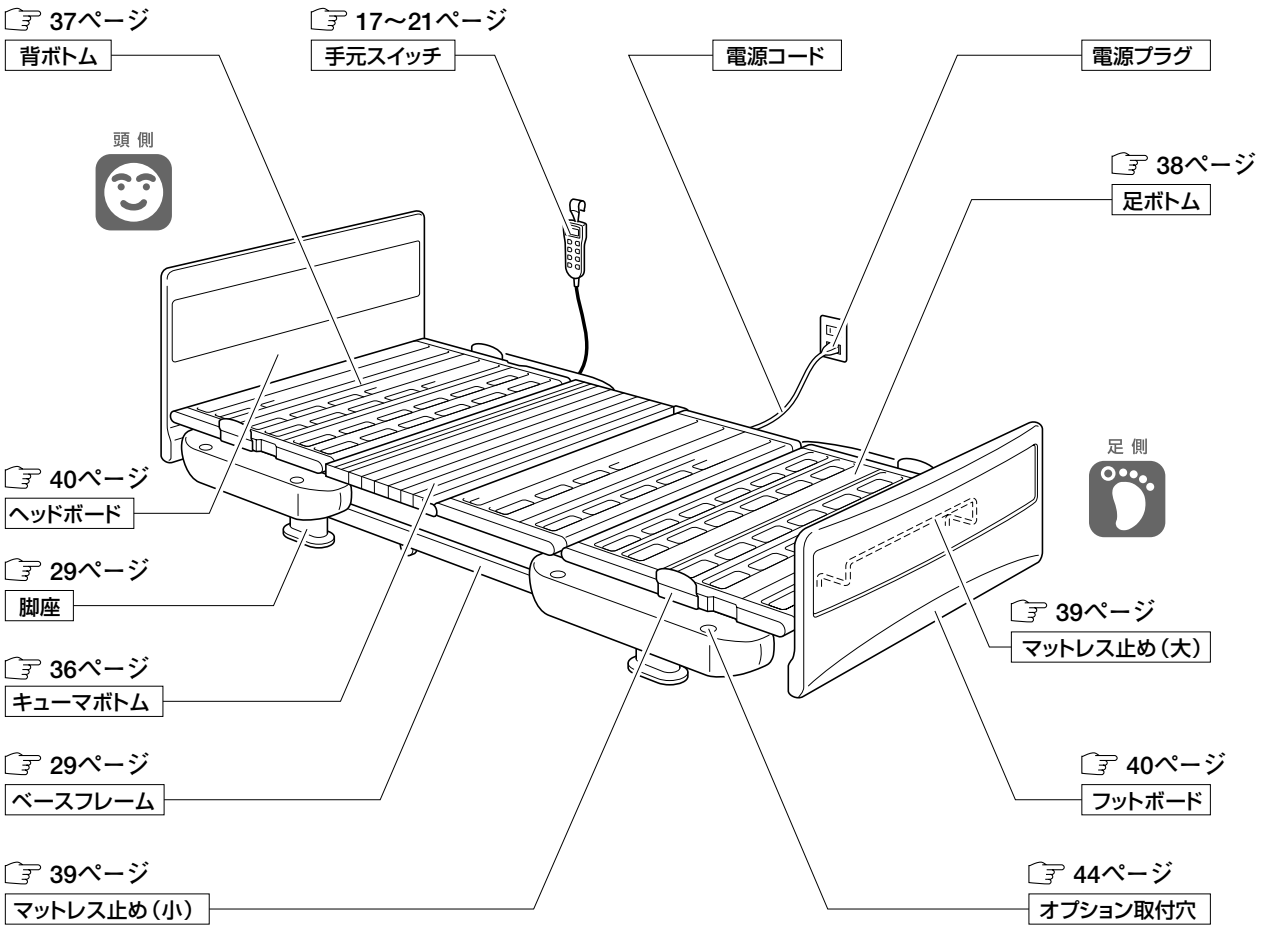
3.静粛性にすぐれたベッドです
●専用に開発されたリニアアクチュエーターを採用しています。

4.居住性を重視したケアベッドです
●サイドレール、オーバーテーブルをご使用になると、ベッド上での食事・読書等が可能です。

1 主要部分のなまえ

このマークの数字は、
説明のあるページを示しています。





2 安全に使用するための注意事項

■必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の二つに区分しています。**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、生命にかかわるけがを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人がけがを負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

〔絵表示の例〕

△ 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は「感電注意」）が描かれています。

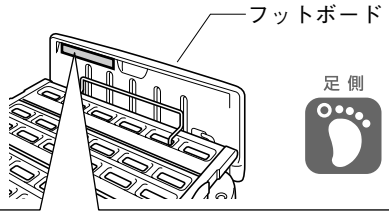
⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や回りに具体的な禁止内容（左図の場合は「分解禁止」）が描かれています。

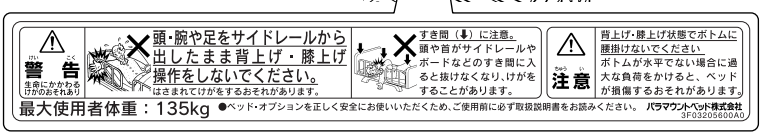
● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は使用者の行為の強制「電源プラグを抜く」）が描かれています。

※取扱説明書をお読みになった後は､お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

〔安全ラベルについて〕

安全ラベル貼付位置

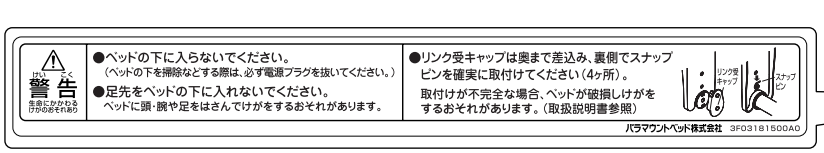




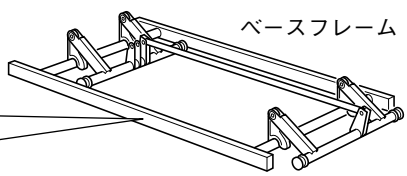
●注意事項の中で、ベッドをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにしてフットボードの内側とベースフレームの側面、オプション受の上面に貼ってあります。はがしたり傷つけたりしないでください。

●安全ラベルが傷ついたり、はがれてしまった場合には販売店から新しい安全ラベルを取寄せ、貼り直してください。

アクセサリー枠

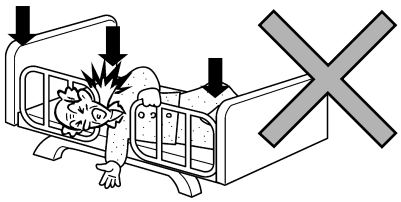


ベースフレーム



⚠ 警告（けいこく）

■サイドレールやボードのすき間（⬇）に頭や首が入らないよう注意してください

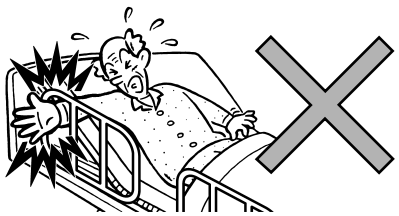


●頭や首がすき間に入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。
●特に体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください

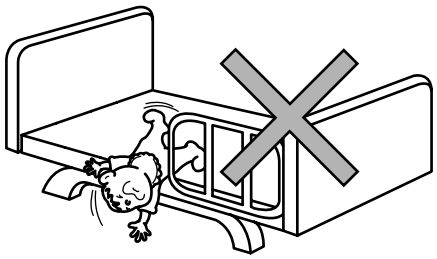
●サイドレールとサイドレール、各ボードとサイドレールのすき間から落下したり、サイドレールの上から身をのり出して落下し、けがをするおそれがあります。

■ベッドの外に頭、手や足などを出さないでください



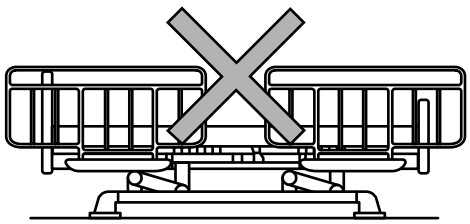
●ベッドの操作時に、操作した部分にはさまれてけがや事故の原因となります。

■乳幼児には使用しないでください



●サイドレール等のすき間から落下するおそれがあります。

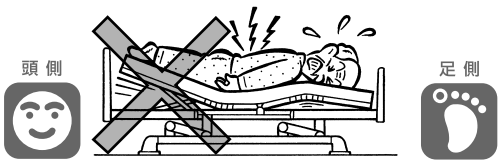
■サイドレールを取付けの際は、ヘッドボード・フットボードから大きくとび出さない向きに取付けてください



●とび出したサイドレールでけがをするおそれがあります。

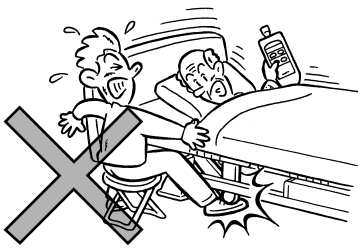
⚠ 警告

■うつ伏せで寝た状態での角度調節は行わないでください



●関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

■ベースフレームに足をかけないでください



●ベースフレームに足をかけたり、足先を入れたりしないでください。はさまれてけがをするおそれがあります。

■12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方に操作させないでください

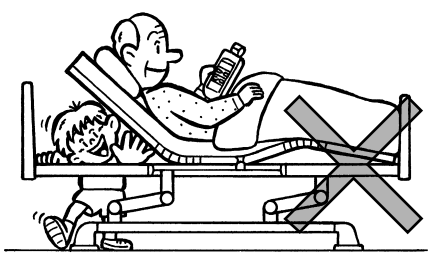
●12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方（認知症の方など）が一人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、電源プラグを抜いたり、手元操作選択スイッチ（20ページ参照）で操作を禁止するなどして誤操作による事故を未然に防いでください。

●手元操作を禁止させる機能は、電源プラグ、手元スイッチコネクターを抜いた場合、および停電の場合などに初期状態に戻り操作可能になりますのでご注意ください。

■ベッドは正しい向きで使用してください

●ベッドの頭側、足側を間違えて寝るとポジション操作の際、無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。

■ベッドの下に潜り込んだり、頭、手や足を入れないでください



●ベッドの可動部分とフレームやサイドレールとの間にはさまれてけがや事故の原因となります。ベッド操作はベッドの周りに障害物がないことを確認して行ってください。

⚠ 警告（けいこく）

■電動操作中はベッドのフレームとボトムの間などに手(指)や足を入れないでください

●さがってきたボトムとベッドのフレームやボードなどの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

■掃除などベッドの下に入る際は電源プラグを抜いてください

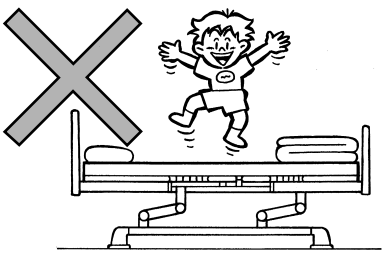
プラグを抜く

●誤操作によりフレームにはさまれて、けがをするおそれがあります。

■踏み台がわりにしないでください

●ベッドから落下、転倒してけがをするおそれがあります。

■ベッドの上で飛び跳ねないでください



●ベッドの上で飛び跳ねないでください。けがや故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

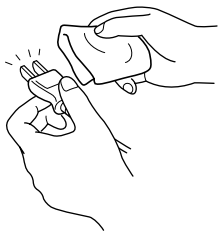
■電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください

感電注意

●ショートして感電・故障のおそれがあります。

⚠警告

■電源プラグにホコリを付着させないでください



●電源プラグの表面にホコリが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。

●電源プラグの表面にホコリが付着していると、水分を含んで電流が流れ、絶縁状態が悪くなり、発火するおそれがあります。

■お客様による修理・改造はしないでください

分解不可

●異常動作して、けがをするおそれがあります。

■電源コード類をはさまないでください

●コードが傷むことで漏電し、感電するおそれがあります。

●傷んだコードは修理を依頼してください。

■電子治療器を使用するときは必ず電源プラグを抜いてください

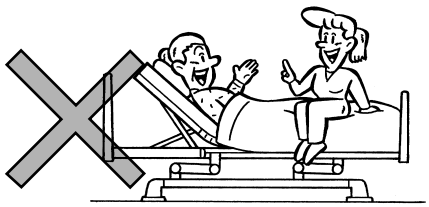
プラグを抜く

●電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器等）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。

●なお、他の医用電気機器と併用する際は、安全をご確認の上ご使用ください。

⚠ 注意（ちゅうい）

■2人以上で使用しないでください



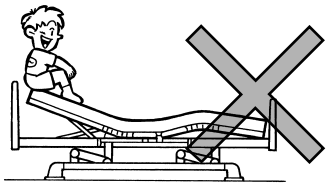
●このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用しないでください。一時的に、介助者がベッドにのる必要がある場合は、つぎの点を確かめてください。

○ベッドにかかる荷重が最大使用者体重（135kg）をこえていないこと

○ボトムがさがって平らになっていること

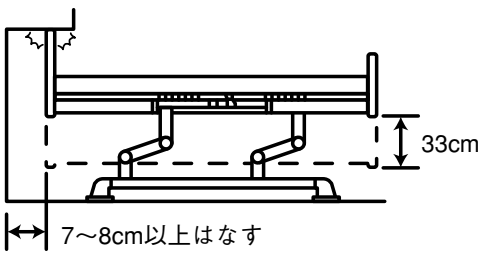
●介助者がベッドにのる機会の多い場合は、必ずベッドの定期点検を受けてください。

■あがっているボトムに乗らないでください



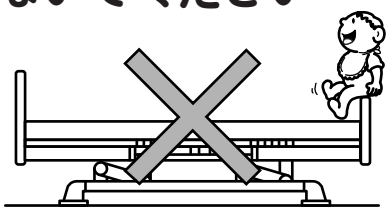
●ボトムの支持部に大きな力がかかり、変形、破損の原因となります。

■高さ調節のとき、壁や梁に気をつけてください



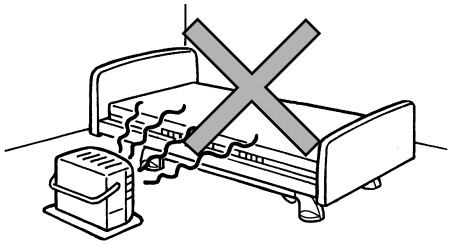
●ベッドは高さ調節操作で、上下に約33cm、前後に約6cm動きます。ご使用の際には、この高さ調節でベッドが壁や梁にあたらないことをご確認ください。特に壁からは必ず7～8cm以上はなして設置してください。

■サイドレールやヘッドボード・フットボードに腰掛けたりしないでください



●ベッドから落下・転倒してけがをしたり、ベッドが破損・変形してけがをするおそれがあります。

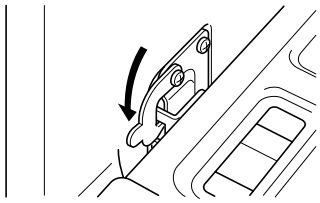
■火気に近づけないでください



●ベッドの近くでの、ストーブなど熱器具の使用は避けてください。変質、変形、発火等の原因となります。

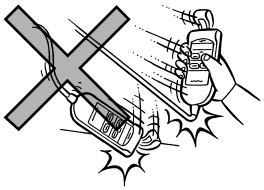
⚠注意

■ヘッド・フットボードは必ずストッパーをかけてください



●ボードの取付けが不完全な場合、ベッド移動でボードを押す(引く)ときや体を支えるためボードにつかまったときなどに、不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。

■手元スイッチを傷つけないでください



●ショートによる誤動作のおそれがあります。
●傷んだ手元スイッチは修理を依頼してください。

■スプレータイプの殺虫剤をベッドに直接噴射しないでください

●殺虫剤に含まれる溶剤によってベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

■被災したベッドは販売店に点検・修理をご依頼ください

●地震・火事・水害等で被災したベッドは、電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によってけがをするおそれがあります。

■治療中の方は医師に相談をしてください

●現在治療中の方は、ベッドの操作が症状を悪化させる可能性があります。ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

■指定以外の製品とは組合わせないでください

●指定以外の製品と組合わせるとベッドに負担をかけ、けがや故障の原因となることがあります。

■電源プラグを持って抜いてください

プラグを抜く

●コンセントから抜く際、電源コードのみを持って引き抜くとコードが傷んで感電するおそれがあります。

■ベッド操作時は周囲を確認してください

●ポジション操作によって周囲の物を破損させたり、ベッドを破損・変形させる原因となります。

らくらくモーションシリーズ

ベッド本体	830幅ミニ	型　番	KQ-86000	KQ-86010	KQ-86020	KQ-860B0	KQ-860S0	KQ-86030	KQ-86040
		寸法(mm)	全幅928×全長1935					全幅928×全長1920	
		製品質量	約79kg					約82kg	
	830幅レギュラー	型　番	KQ-86100	KQ-86110	KQ-86120	KQ-861B0	KQ-861S0	KQ-86130	KQ-86140
		寸法(mm)	全幅928×全長2045					全幅928×全長2030	
		製品質量	約80kg					約84kg	
	830幅ロング	型　番	KQ-86A00	KQ-86A10	KQ-86A20	KQ-86AB0	KQ-86AS0	KQ-86A30	KQ-86A40
		寸法(mm)	全幅928×全長2185					全幅928×全長2170	
		製品質量	約82kg					約86kg	
	910幅ミニ	型　番	KQ-86200	KQ-86210	KQ-86220	KQ-862B0	KQ-862S0	KQ-86230	KQ-86240
		寸法(mm)	全幅998×全長1935					全幅998×全長1920	
		製品質量	約81kg					約84.5kg	
	910幅レギュラー	型　番	KQ-86300	KQ-86310	KQ-86320	KQ-863B0	KQ-863S0	KQ-86330	KQ-86340
		寸法(mm)	全幅998×全長2045					全幅998×全長2030	
		製品質量	約82kg					約85.5kg	
	910幅ロング	型　番	KQ-86B00	KQ-86B10	KQ-86B20	KQ-86BB0	KQ-86BS0	KQ-86B30	KQ-86B40
		寸法(mm)	全幅998×全長2185					全幅998×全長2170	
		製品質量	約84kg					約87.5kg	
	床高（mm）		250～580(ゆかからボトム面まで)						
	モーター数		3モーター						
	手元スイッチ		液晶タイプ8ボタン						
	主な材質	ボード	ポリプロピレン(PP)	PP木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）	PP木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）	MDF木目シート（ライト）	MDF木目シート（ダーク）
		ｱｸｾｻﾘｰ枠 本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)						
		ｱｸｾｻﾘｰ枠 オプション受カバー	ポリプロピレン(PP)			PP木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）	PP木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）
		ボトム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）						
		駆動部							
		ベースフレーム							
	最大使用者体重		135kg						
	安全使用荷重		1700N(174kgf)						
	動作保証条件	温　度	10℃～40℃						
		湿　度	30～75%RH						

背あげ	傾斜角度		0～約75°
	背あげ用アクチュエーター	電　源	AC100V、50／60Hz
		消費電力	115W以下
		昇降時間	約26秒(ふつう) ／約20秒(はやい)
		連続使用時間	約5分
		モーター形式	DCモーター

膝あげ	傾斜角度		0～約30°
	膝あげ用アクチュエーター	電　源	AC100V、50／60Hz
		消費電力	95W以下
		昇降時間	約11秒
		連続使用時間	約5分
		モーター形式	DCモーター

高さ調節	調節量		約330mm
	ハイロー用アクチュエーター	電　源	AC100V、50／60Hz
		消費電力	180W以下
		昇降時間	約32秒(ふつう) ／約22秒(はやい)
		連続使用時間	約5分
		モーター形式	DCモーター

3モーターシリーズ

ベッド本体	830幅ミニ	型　番	KQ-83000	KQ-83010	KQ-83020	KQ-830B0	KQ-830S0	KQ-83030	KQ-83040
		寸法(mm)	全幅928×全長1935					全幅928×全長1920	
		製品質量	約79kg					約82kg	
	830幅レギュラー	型　番	KQ-83100	KQ-83110	KQ-83120	KQ-831B0	KQ-831S0	KQ-83130	KQ-83140
		寸法(mm)	全幅928×全長2045					全幅928×全長2030	
		製品質量	約80kg					約84kg	
	830幅ロング	型　番	KQ-83A00	KQ-83A10	KQ-83A20	KQ-83AB0	KQ-83AS0	KQ-83A30	KQ-83A40
		寸法(mm)	全幅928×全長2185					全幅928×全長2170	
		製品質量	約82kg					約86kg	
	910幅ミニ	型　番	KQ-83200	KQ-83210	KQ-83220	KQ-832B0	KQ-832S0	KQ-83230	KQ-83240
		寸法(mm)	全幅998×全長1935					全幅998×全長1920	
		製品質量	約81kg					約84.5kg	
	910幅レギュラー	型　番	KQ-83300	KQ-83310	KQ-83320	KQ-833B0	KQ-833S0	KQ-83330	KQ-83340
		寸法(mm)	全幅998×全長2045					全幅998×全長2030	
		製品質量	約82kg					約85.5kg	
	910幅ロング	型　番	KQ-83B00	KQ-83B10	KQ-83B20	KQ-83BB0	KQ-83BS0	KQ-83B30	KQ-83B40
		寸法(mm)	全幅998×全長2185					全幅998×全長2170	
		製品質量	約84kg					約87.5kg	
	床高（mm）		250～580（ゆかからボトム面まで)						
	モーター数		3モーター						
	手元スイッチ		6ボタン						
	主な材質	ボード	ポリプロピレン(PP)	PP木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）	PP木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）	MDF木目シート（ライト）	MDF木目シート（ダーク）
		ｱｸｾｻﾘｰ枠 本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)						
		ｱｸｾｻﾘｰ枠 オプション受カバー	ポリプロピレン(PP)			PP木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）	PP木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）
		ボトム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）						
		駆動部							
		ベースフレーム							
	最大使用者体重		135kg						
	安全使用荷重		1700N(174kgf)						
	動作保証条件	温　度	10℃～40℃						
		湿　度	30～75%RH						

背あげ	傾斜角度		0～約75°
	背あげ用アクチュエーター	電　源	AC100V、50／60Hz
		消費電力	115W以下
		昇降時間	約26秒(ふつう）／約20秒(はやい)
		連続使用時間	約5分
		モーター形式	DCモーター

膝あげ	傾斜角度		0～約30°
	膝あげ用アクチュエーター	電　源	AC100V、50／60Hz
		消費電力	95W以下
		昇降時間	約11秒
		連続使用時間	約5分
		モーター形式	DCモーター

高さ調節	調節量		約330mm
	ハイロー用アクチュエーター	電　源	AC100V、50／60Hz
		消費電力	180W以下
		昇降時間	約32秒(ふつう）／約22秒(はやい)
		連続使用時間	約5分
		モーター形式	DCモーター

2モーターシリーズ

ベッド本体	830幅ミニ	型　番	KQ-82000	KQ-82010	KQ-82020	KQ-820B0	KQ-820S0	KQ-82030	KQ-82040
		寸法(mm)	全幅928×全長1935					全幅928×全長1920	
		製品質量	約78kg					約81kg	
	830幅レギュラー	型　番	KQ-82100	KQ-82110	KQ-82120	KQ-821B0	KQ-821S0	KQ-82130	KQ-82140
		寸法(mm)	全幅928×全長2045					全幅928×全長2030	
		製品質量	約79kg					約82.5kg	
	830幅ロング	型　番	KQ-82A00	KQ-82A10	KQ-82A20	KQ-82AB0	KQ-82AS0	KQ-82A30	KQ-82A40
		寸法(mm)	全幅928×全長2185					全幅928×全長2170	
		製品質量	約81kg					約84.5kg	
	910幅ミニ	型　番	KQ-82200	KQ-82210	KQ-82220	KQ-822B0	KQ-822S0	KQ-82230	KQ-82240
		寸法(mm)	全幅998×全長1935					全幅998×全長1920	
		製品質量	約80kg					約83.5kg	
	910幅レギュラー	型　番	KQ-82300	KQ-82310	KQ-82320	KQ-823B0	KQ-823S0	KQ-82330	KQ-82340
		寸法(mm)	全幅998×全長2045					全幅998×全長2030	
		製品質量	約81kg					約84.5kg	
	910幅ロング	型　番	KQ-82B00	KQ-82B10	KQ-82B20	KQ-82BB0	KQ-82BS0	KQ-82B30	KQ-82B40
		寸法(mm)	全幅998×全長2185					全幅998×全長2170	
		製品質量	約83kg					約86.5kg	
	床高（mm）		250～580(ゆかからボトム面まで)						
	モーター数		2モーター						
	手元スイッチ		4ボタン						
	主な材質	ボード	ポリプロピレン(PP)	PP木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）	PP木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）	MDF木目シート（ライト）	MDF木目シート（ダーク）
		アクセサリー枠 本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)						
		アクセサリー枠 オプション受カバー	ポリプロピレン(PP)			PP木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）	PP木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）
		ボトム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）						
		駆動部							
		ベースフレーム							
	最大使用者体重		135kg						
	安全使用荷重		1700N(174kgf)						
	動作保証条件	温　度	10℃～40℃						
		湿　度	30～75%RH						

背あげ	傾斜角度		0～約75°
	背あげ用アクチュエーター	電　源	AC100V、50／60Hz
		消費電力	150W以下
		昇降時間	約26秒(ふつう）／約20秒(はやい)
		連続使用時間	約5分
		モーター形式	DCモーター

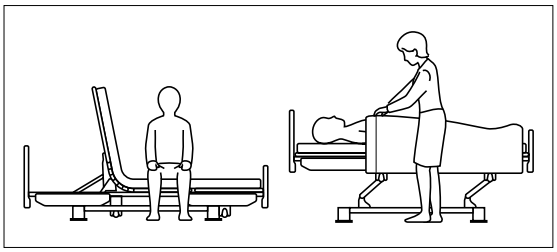
膝あげ	傾斜角度		0～約20°（背膝連動時）
	膝あげ用アクチュエーター	電　源	—
		消費電力	—
		昇降時間	—
		連続使用時間	—
		モーター形式	—

高さ調節	調節量		約330mm
	ハイロー用アクチュエーター	電　源	AC100V、50／60Hz
		消費電力	180W以下
		昇降時間	約32秒(ふつう）／約22秒(はやい)
		連続使用時間	約5分
		モーター形式	DCモーター

4 ベッドの使用方法

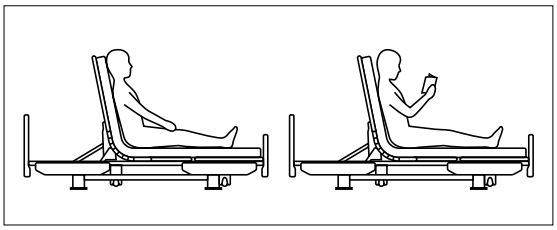
■動きを理解していただくために、サイドレールなどを取外した状態で描いてあります。

高さ調節



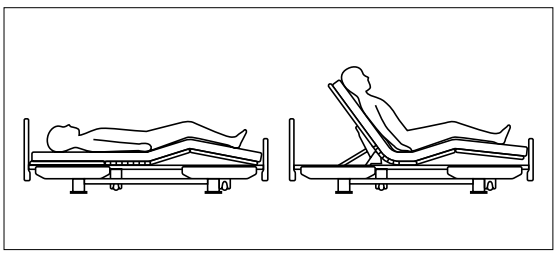
●座ってかかとが着く位の高さに調節すると、ベッドから立ちあがりやすくなります。
●車椅子の座面の高さにベッドの高さを合わせると、移乗が楽に行えます。
●適度な高さまでベッドをあげると、楽な姿勢で介護できます。

背あげ



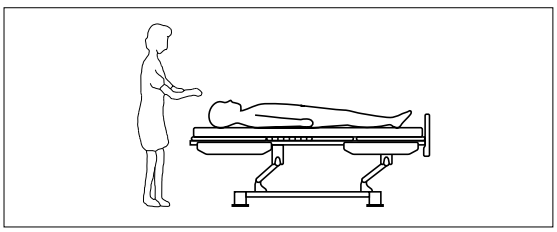
●ベッドからの起きあがりに役立ちます。
●ベッド上での食事、読書などに便利です。

膝あげ



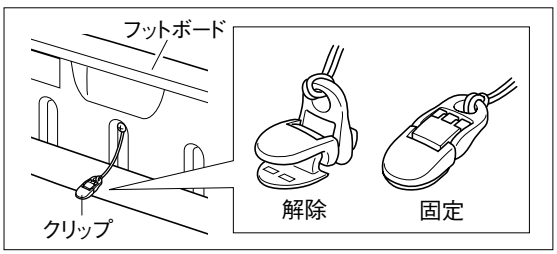
●背あげを行う場合、先に膝をあげておくと体のずれを少なくできます。
(3モーターシリーズ)
●背と膝の角度を適度にあげると、体に負担のかかりにくい楽な姿勢がとれます。
(2モーターシリーズは連動)

ボードの取外し



●ヘッドボード・フットボードが取外せますので、シーツ交換、体の清拭、洗髪、洗顔などの介護がしやすくなります。

毛布とめ

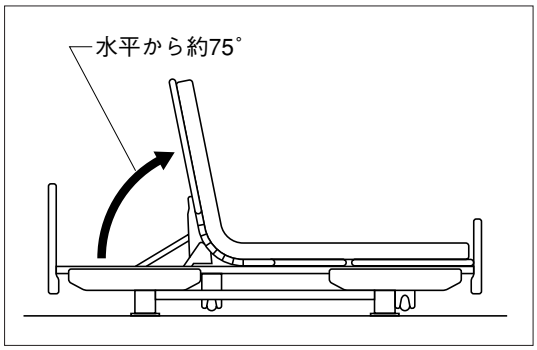


●毛布や掛け布団をクリップでとめることにより、ベッドから落ちにくくします。

●毛布や掛け布団を強く引っ張ると、クリップが外れたり、毛布や掛け布団が破れる場合があります。

■ベッドの背ボトム、足ボトムの角度やベッド全体の高さを、電動操作で無段階に調節できます。手元スイッチのボタンを押すと動き、はなすとその位置で止まります。必要な位置まで動かして、ベッドをお使いください。

背 あ げ



らくらくモーション・3モーターシリーズの場合

●背ボトムの角度を調節できます。
ベッドの背もたれ部分が、水平から約75°まで調節できます。

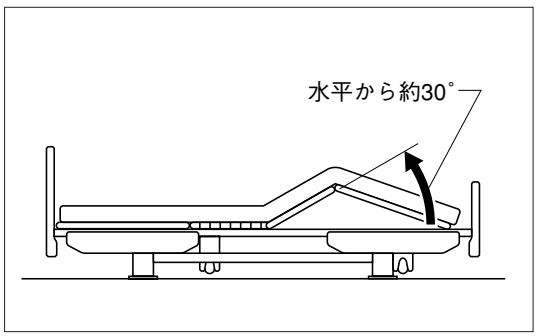
2モーターシリーズの場合

●切換レバー操作(22ページ参照)により、背と連動して膝部が約20°まで上がります。

注記

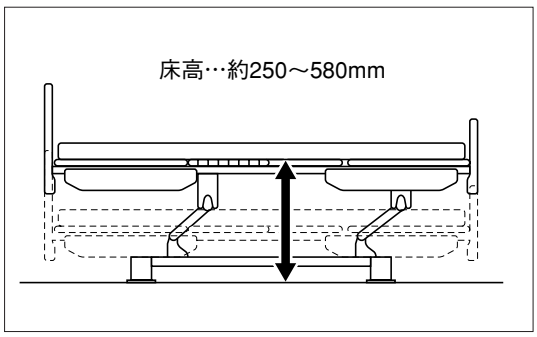
●2モーターシリーズは、膝部のみの調節はできません。

膝 あ げ



●足ボトムの膝部角度を調節できます。
(らくらくモーション・3モーターシリーズのみ)
足ボトムの膝部が、水平から約30°まで調節できます。

高 さ 調 節



●ベッドの高さを調節できます。ゆかからボトム面までの高さを、約250mmから約580mmまで調節できます。

注記

●らくらくモーション・3モーターシリーズは角度制限機能により、背ボトムと膝ボトムの間の角度が90°以下にならないように動作します。背ボトム(膝ボトム)をあげていくと、背ボトムと膝ボトムの間の角度が常に90°以上になるように、膝ボトム(背ボトム)がさがります。

らくらくモーション

■らくらくモーションは背あげ時、さげ時の圧迫感やずれを軽減し、より良い姿勢を正しく保つことを目的とした機能です(らくらくモーションシリーズのみ)。ご使用上、次のような特長があります。

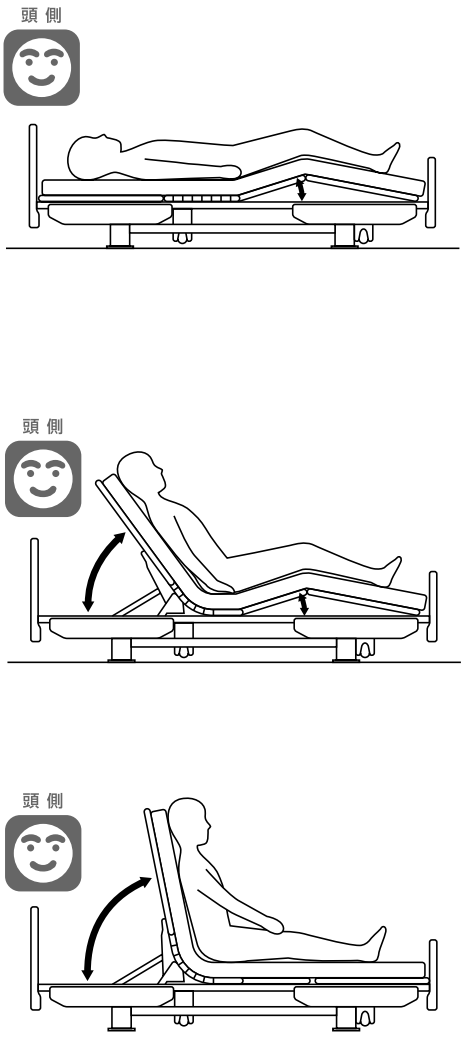
●背あげ時の圧迫感を大幅に軽減します。
●背あげ時のからだのずれを大幅に軽減します。
●背あげ時の姿勢をしっかり保持します。

らくらくモーションあげ時

①膝が先行して約25°まであがります。

②膝が約25°のままで一度止まり、背があがります。背が約40°まであがると膝がさがりはじめます。

③背が約75°まであがるのとほぼ同時に膝が水平までさがります。



らくらくモーションさげ時

③背・膝が水平までさがります。

②膝が約25°のままで一度止まります。背が約15°までさがると膝がさがり始めます。

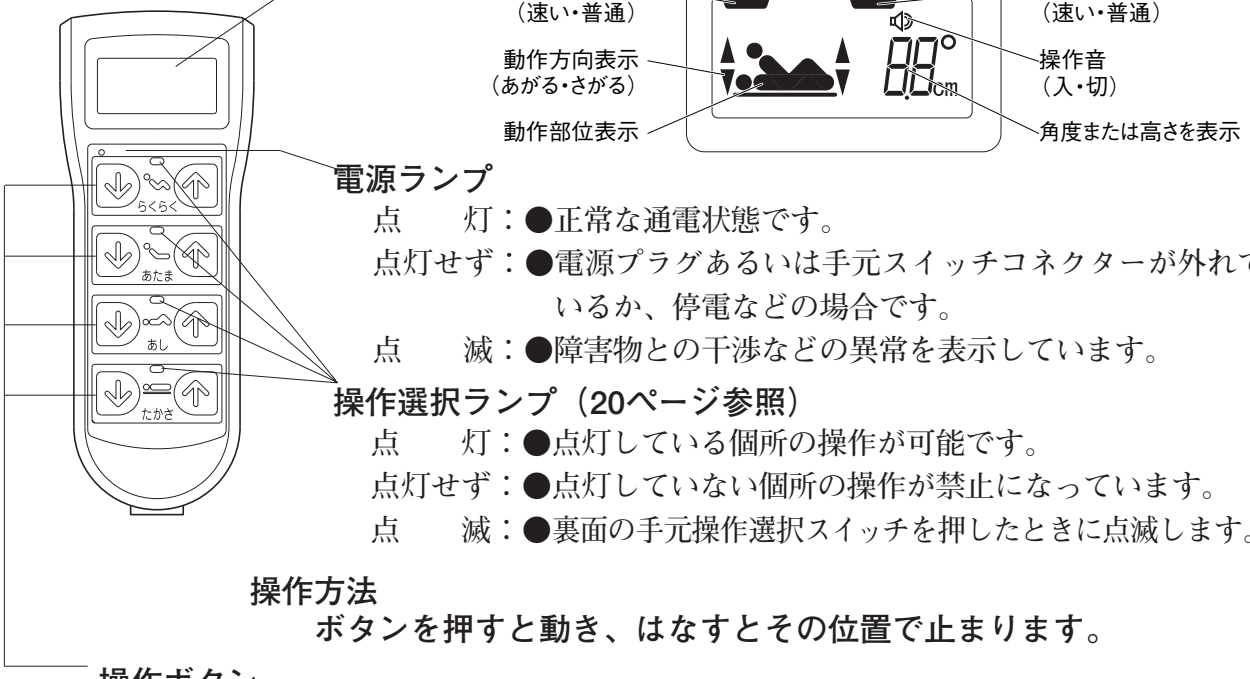
①背がさがり始めるのとほぼ同時に膝があがり始めます。

6 手元スイッチの使いかた

■手元スイッチ操作によって、ベッドの背ボトムの角度、足ボトムの膝部角度、ベッド全体の高さを無段階に調節できます。

⚠ 警告（けいこく）	●12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方(認知症の方など)が一人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、電源プラグを抜いたり、手元操作選択スイッチ(20ページ参照)で操作を禁止するなどして誤動作による事故を未然に防いでください。

らくらくモーションスイッチ



電源ランプ

点　　灯：●正常な通電状態です。
点灯せず：●電源プラグあるいは手元スイッチコネクターが外れているか、停電などの場合です。
点　　滅：●障害物との干渉などの異常を表示しています。

操作選択ランプ（20ページ参照）

点　　灯：●点灯している個所の操作が可能です。
点灯せず：●点灯していない個所の操作が禁止になっています。
点　　滅：●裏面の手元操作選択スイッチを押したときに点滅します。

操作方法

ボタンを押すと動き、はなすとその位置で止まります。

操作ボタン

らくらく：らくらくモーションのあげさげボタン
　●背あげ・さげの際、膝ボトムが交互に動作します。
あ た ま：背のあげさげボタン
　●背ボトムの角度調節ができます。
あ　　し：膝のあげさげボタン
　●膝ボトムの角度調節ができます。
た か さ：ベッドのあげさげボタン
　●ベッドの高さ調節ができます。

注記！

●液晶表示パネルは、操作後約20秒経過すると表示内容が自動的に消えます。
●操作していないのに電源ランプが点滅するときは、何らかの異常があるときです。51ページを参考に確認を行ってください。
●2つ以上のボタンを同時に押した場合、安全のため誤操作とみなし動きません。

■液晶表示パネルについて

●ベッドの動作情報は、液晶表示で確認することができます。

●白抜きの個所が点滅表示されます。

らくらくモーション

あげ　動作停止状態　さげ

●背動作角度が2°ごとに表示されます。
膝動作角度は表示されません。

背あげ

あげ（普通）　動作停止状態　さげ（普通）

あげ（速い）　動作停止状態　さげ（速い）

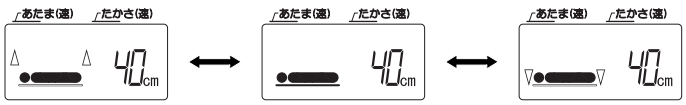
●背動作角度が2°ごとに表示されます。

膝あげ

あげ　動作停止状態　さげ

●膝動作角度が2°ごとに表示されます。

高さ調節

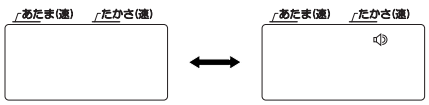


あげ（普通）　動作停止状態　さげ（普通）

あげ（速い）　動作停止状態　さげ（速い）

●高さが2cmごとに表示されます。

操作音



操作音切　操作音入

●操作音入・切を示しています。

注記

●表示される数値（角度・高さ）は、目安としてください。

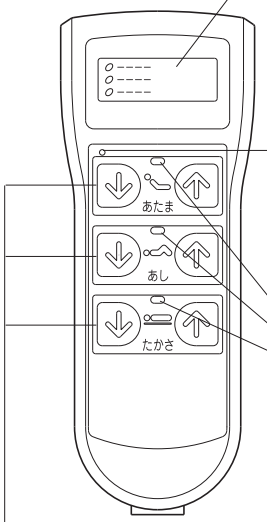
●0°～約4°の範囲にある場合は「 -- 」が表示されます。

●数値表示部に「H1」などの値が現れた場合はエラーコードを表示しています。
50ページを参考に、確認を行ってください。

6 手元スイッチの使いかた

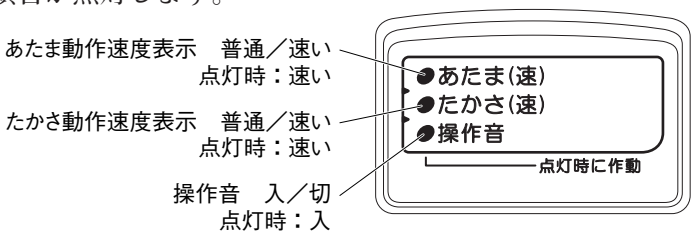
3モーター・2モータースイッチ

※下図は3モータースイッチです。



機能状態ランプ

選択された項目が点灯します。



電源ランプ

点　　灯：●正常な通電状態です。
点灯せず：●電源プラグあるいは手元スイッチコネクターが外れているか、停電などの場合です。
点　　滅：●障害物との干渉などの異常を表示しています。

操作選択ランプ（20ページ参照）

点　　灯：●点灯している個所の操作が可能です。
点灯せず：●点灯していない個所の操作が禁止になっています。
点　　滅：●裏面の手元操作選択スイッチを押したときに点滅します。

操作方法

ボタンを押すと動き、はなすとその位置で止まります。

操作ボタン

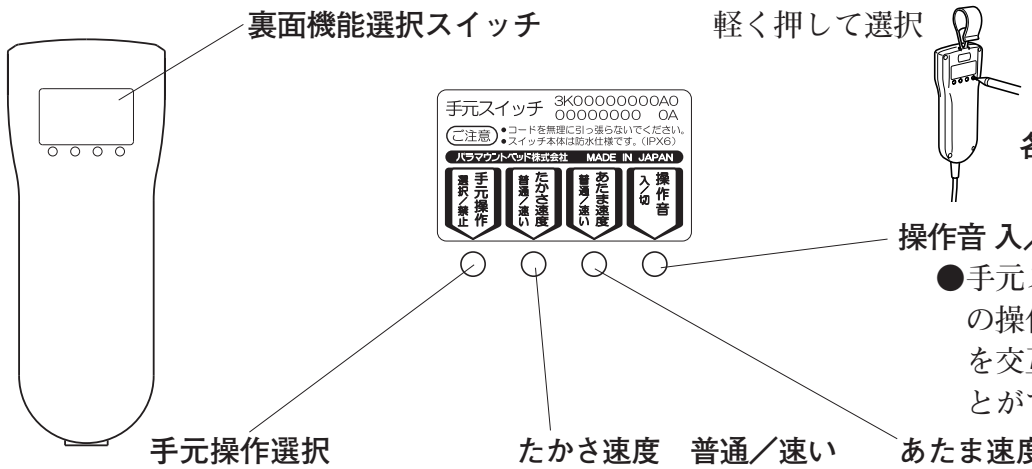
あ た ま：背のあげさげボタン
●背ボトムの角度調節ができます。
あ　　し：膝のあげさげボタン(3モータースイッチのみ)
●膝ボトムの角度調節ができます。
た か さ：ベッドのあげさげボタン
●ベッドの高さ調節ができます。

●操作していないのに電源ランプが点滅するときは、何らかの異常があるときです。50ページを参考に確認を行ってください。

●2つ以上のボタンを同時に押した場合、誤操作とみなし動きません。

機能選択スイッチ

■手元スイッチ裏面にある各スイッチの切換えで、下記の選択ができます。



操作音 入／切

●手元スイッチ操作時の操作音の(入・切)を交互に切換えることができます。

手元操作選択

●手元スイッチによるベッド操作の可能・禁止を動作個所ごとに交互に切換えることができます。

たかさ速度　普通／速い

●ベッドの高さをあげさげする速さ(普通・速い)を交互に切換えることができます。

あたま速度　普通／速い

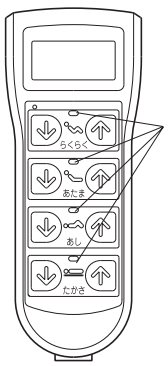
●背ボトムをあげさげする速さ(普通・速い)を交互に切換えることができます。

⚠注意

●機能選択スイッチの切換えは、先の細いもの(鋭利なものを除く)でスイッチを軽く押して行ってください。
ただしシャープペンシルを利用する場合は、芯を出したままで行わないでください。芯が折れて手元スイッチの故障の原因となります。

■手元操作選択スイッチ

手元スイッチ裏面にある手元操作選択スイッチを操作することで、らくらく・あたま・あし・たかさそれぞれのボタン操作を禁止にすることができます。



操作選択ランプ

点　　灯：操作可能
点灯せず：操作禁止
点　　滅：選択状態

❶裏面にある手元操作選択スイッチを1回押してください。
❷操作選択ランプが点滅します。ボタン操作を禁止にしたい個所（らくらく・あたま・あし・たかさ）のあげ・さげいずれかのボタンを押すと、禁止する個所を選択できます。もう1度押すと点灯し、操作可能となります。
❸全ての操作の選択が完了しましたら、裏面の手元操作選択スイッチを1回押してください。

注記

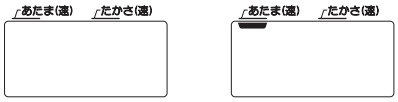
●手元操作選択スイッチを押して、操作選択ランプが点滅している時間は、約30秒です。この間に操作を選択してください。選択しなかった場合は、全ての操作が可能となります。
●手元操作選択スイッチを1回押し、操作選択ランプが点滅した時点で、それまでの選択内容は取消されます。

6 手元スイッチの使いかた

■あたま速度(切換)スイッチ

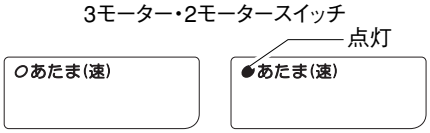
●背ボトムをあげさげする速さを2通り(普通・速い)選ぶことができます。
「速い」は「普通」の約1.5倍の速さで動作します。

らくらくモーションスイッチ



普通　速い

3モーター・2モータースイッチ

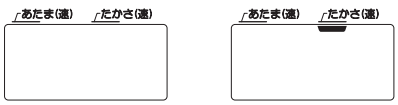


普通　速い

■たかさ速度(切換)スイッチ

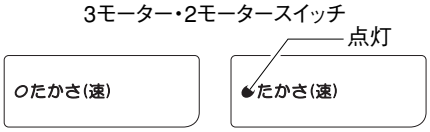
●ベッドの高さをあげさげする速さを2通り(普通・速い)選ぶことができます。
「速い」は「普通」の約1.5倍の速さで動作します。

らくらくモーションスイッチ



普通　速い

3モーター・2モータースイッチ

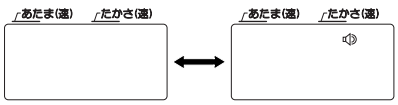


普通　速い

■操作音入／切(切換)スイッチ

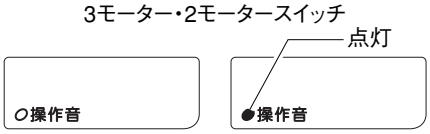
●手元スイッチ操作時の操作音(入・切)を選ぶことができます。

らくらくモーションスイッチ



操作音切　操作音入

3モーター・2モータースイッチ



操作音切　操作音入

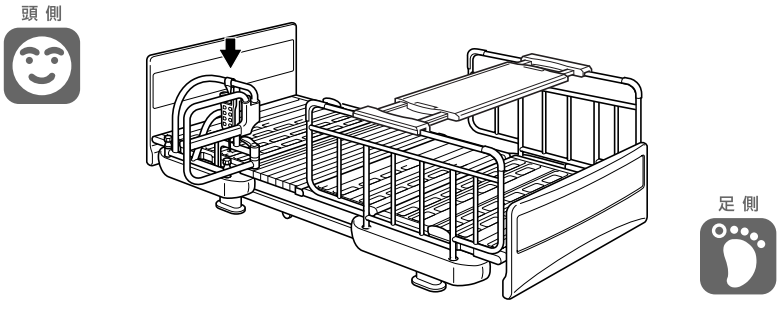
■機能選択スイッチの初期状態(何も選択していないとき)は次の通りです。

●手元操作選択：すべての操作が可能
●あたま速度：普通
●たかさ速度：普通
●操作音：入

⚠ 注意(ちゅうい)	●停電後や電源プラグ、手元スイッチコネクターを抜くと、機能選択スイッチで設定した内容はすべて初期状態に戻ります。操作禁止を設定してある場合でも、初期状態に戻ると操作可能になりますのでご注意ください。

■手元スイッチを掛ける場所

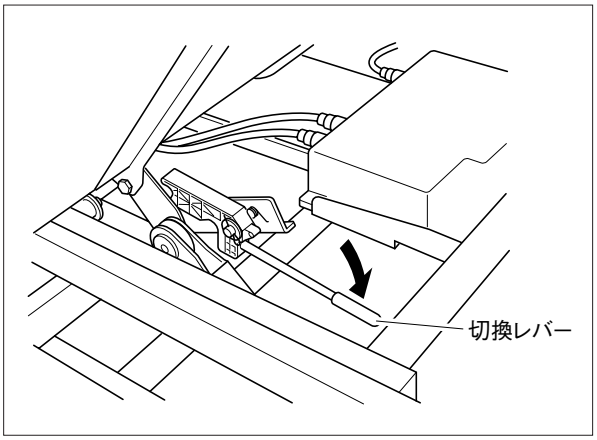
●手元スイッチを使用しないときは放置せず、誤って操作ボタンに触れることを防ぐため、フックを利用して、サイドレールなどに掛けてください。



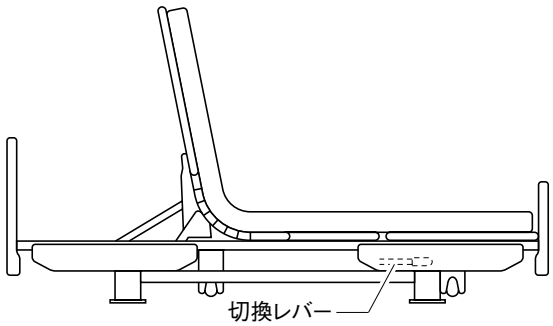
7 背膝連動切換操作について(2モーターシリーズ)

■2モーターシリーズは切換レバー操作で、背あげのみか背膝連動のどちらかから選択できます。
■切換レバーは足ボトムの裏側にあります。
■切換操作はボトムを水平にしたあと、足ボトムを持ちあげて行ってください。

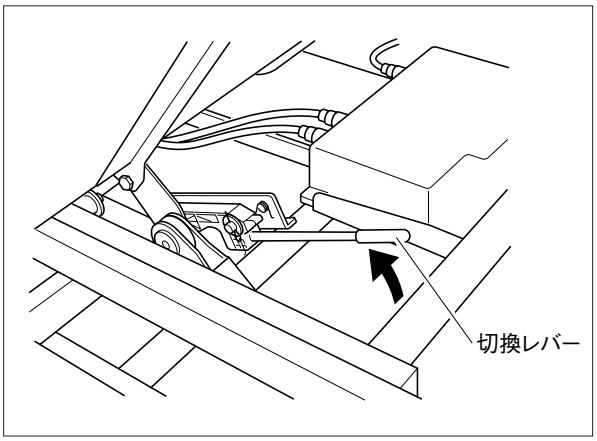
解除状態



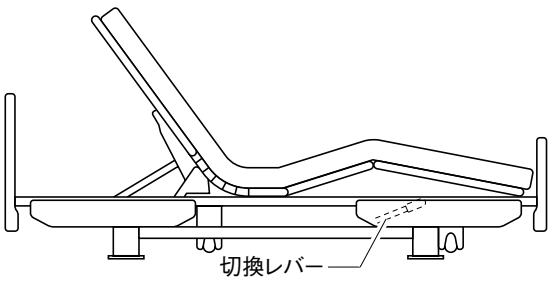
●レバーをさげて水平にすると連動が解除され、背あげのみの操作ができます。



連動状態



●レバーをあげると連動状態となり、背膝連動動作ができます。



■各製品は以下のユニットの組合せで使用してください。

⚠ 注意

●ベッドは正しいユニットの組合せを確認した上で組立ててください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因になります。各ユニットの番号は段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

らくらくモーションシリーズ

	830幅ミニ						
	KQ-86000	KQ-86010	KQ-86020	KQ-860B0	KQ-860S0	KQ-86030	KQ-86040
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q86000K						
アクセサリー枠	Q82000S			Q82030S	Q82040S	Q82030S	Q82040S
ボトム	Q82000U						
ボード	Q82000B	Q82010B	Q82020B	Q82010B	Q82020B	Q82030B	Q82040B

	830幅レギュラー						
	KQ-86100	KQ-86110	KQ-86120	KQ-861B0	KQ-861S0	KQ-86130	KQ-86140
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q86000K						
アクセサリー枠	Q82100S			Q82130S	Q82140S	Q82130S	Q82140S
ボトム	Q82100U						
ボード	Q82000B	Q82010B	Q82020B	Q82010B	Q82020B	Q82230B	Q82240B

	830幅ロング						
	KQ-86A00	KQ-86A10	KQ-86A20	KQ-86AB0	KQ-86AS0	KQ-86A30	KQ-86A40
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q86000K						
アクセサリー枠	Q02A90（延長フレーム）						
	Q82100S			Q82130S	Q82140S	Q82130S	Q82140S
ボトム	Q82100U						
ボード	Q82000B	Q82010B	Q82020B	Q82010B	Q82020B	Q82230B	Q82240B

	910幅ミニ						
	KQ-86200	KQ-86210	KQ-86220	KQ-862B0	KQ-862S0	KQ-86230	KQ-86240
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q86000K						
アクセサリー枠	Q82200S			Q82230S	Q82240S	Q82230S	Q82240S
ボトム	Q82200U						
ボード	Q82200B	Q82210B	Q82220B	Q82210B	Q82220B	Q82230B	Q82240B

	910幅レギュラー						
	KQ-86300	KQ-86310	KQ-86320	KQ-863B0	KQ-863S0	KQ-86330	KQ-86340
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q86000K						
アクセサリー枠	Q82300S			Q82330S	Q82340S	Q82330S	Q82340S
ボトム	Q82300U						
ボード	Q82200B	Q82210B	Q82220B	Q82210B	Q82220B	Q82230B	Q82240B

	910幅ロング						
	KQ-86B00	KQ-86B10	KQ-86B20	KQ-86BB0	KQ-86BS0	KQ-86B30	KQ-86B40
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q86000K						
アクセサリー枠	Q02B90（延長フレーム）						
	Q82300S			Q82330S	Q82340S	Q82330S	Q82340S
ボトム	Q82300U						
ボード	Q82200B	Q82210B	Q82220B	Q82210B	Q82220B	Q82230B	Q82240B

3モーターシリーズ

	830幅ミニ						
	KQ-83000	KQ-83010	KQ-83020	KQ-830B0	KQ-830S0	KQ-83030	KQ-83040
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q83000K						
アクセサリー枠	Q82000S			Q82030S	Q82040S	Q82030S	Q82040S
ボトム	Q82000U						
ボード	Q82000B	Q82010B	Q82020B	Q82010B	Q82020B	Q82030B	Q82040B

	830幅レギュラー						
	KQ-83100	KQ-83110	KQ-83120	KQ-831B0	KQ-831S0	KQ-83130	KQ-83140
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q83000K						
アクセサリー枠	Q82100S			Q82130S	Q82140S	Q82130S	Q82140S
ボトム	Q82100U						
ボード	Q82000B	Q82010B	Q82020B	Q82010B	Q82020B	Q82230B	Q82240B

	830幅ロング						
	KQ-83A00	KQ-83A10	KQ-83A20	KQ-83AB0	KQ-83AS0	KQ-83A30	KQ-83A40
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q83000K						
アクセサリー枠	Q02A90（延長フレーム）						
	Q82100S			Q82130S	Q82140S	Q82130S	Q82140S
ボトム	Q82100U						
ボード	Q82000B	Q82010B	Q82020B	Q82010B	Q82020B	Q82230B	Q82240B

	910幅ミニ						
	KQ-83200	KQ-83210	KQ-83220	KQ-832B0	KQ-832S0	KQ-83230	KQ-83240
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q83000K						
アクセサリー枠	Q82200S			Q82230S	Q82240S	Q82230S	Q82240S
ボトム	Q82200U						
ボード	Q82200B	Q82210B	Q82220B	Q82210B	Q82220B	Q82230B	Q82240B

	910幅レギュラー						
	KQ-83300	KQ-83310	KQ-83320	KQ-833B0	KQ-833S0	KQ-83330	KQ-83340
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q83000K						
アクセサリー枠	Q82300S			Q82330S	Q82340S	Q82330S	Q82340S
ボトム	Q82300U						
ボード	Q82200B	Q82210B	Q82220B	Q82210B	Q82220B	Q82230B	Q82240B

	910幅ロング						
	KQ-83B00	KQ-83B10	KQ-83B20	KQ-83BB0	KQ-83BS0	KQ-83B30	KQ-83B40
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q83000K						
アクセサリー枠	Q02B90（延長フレーム）						
	Q82300S			Q82330S	Q82340S	Q82330S	Q82340S
ボトム	Q82300U						
ボード	Q82200B	Q82210B	Q82220B	Q82210B	Q82220B	Q82230B	Q82240B

2モーターシリーズ

	830幅ミニ						
	KQ-82000	KQ-82010	KQ-82020	KQ-820B0	KQ-820S0	KQ-82030	KQ-82040
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q82000K						
アクセサリー枠	Q82000S			Q82030S	Q82040S	Q82030S	Q82040S
ボトム	Q82000U						
ボード	Q82000B	Q82010B	Q82020B	Q82010B	Q82020B	Q82030B	Q82040B

	830幅レギュラー						
	KQ-82100	KQ-82110	KQ-82120	KQ-821B0	KQ-821S0	KQ-82130	KQ-82140
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q82000K						
アクセサリー枠	Q82100S			Q82130S	Q82140S	Q82130S	Q82140S
ボトム	Q82100U						
ボード	Q82000B	Q82010B	Q82020B	Q82010B	Q82020B	Q82230B	Q82240B

	830幅ロング						
	KQ-82A00	KQ-82A10	KQ-82A20	KQ-82AB0	KQ-82AS0	KQ-82A30	KQ-82A40
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q82000K						
アクセサリー枠	Q02A90（延長フレーム）						
	Q82100S			Q82130S	Q82140S	Q82130S	Q82140S
ボトム	Q82100U						
ボード	Q82000B	Q82010B	Q82020B	Q82010B	Q82020B	Q82230B	Q82240B

	910幅ミニ						
	KQ-82200	KQ-82210	KQ-82220	KQ-822B0	KQ-822S0	KQ-82230	KQ-82240
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q82000K						
アクセサリー枠	Q82200S			Q82230S	Q82240S	Q82230S	Q82240S
ボトム	Q82200U						
ボード	Q82200B	Q82210B	Q82220B	Q82210B	Q82220B	Q82230B	Q82240B

	910幅レギュラー						
	KQ-82300	KQ-82310	KQ-82320	KQ-823B0	KQ-823S0	KQ-82330	KQ-82340
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q82000K						
アクセサリー枠	Q82300S			Q82330S	Q82340S	Q82330S	Q82340S
ボトム	Q82300U						
ボード	Q82200B	Q82210B	Q82220B	Q82210B	Q82220B	Q82230B	Q82240B

	910幅ロング						
	KQ-82B00	KQ-82B10	KQ-82B20	KQ-82BB0	KQ-82BS0	KQ-82B30	KQ-82B40
ベースフレーム	Q82000V						
駆動部	Q82000K						
アクセサリー枠	Q02B90（延長フレーム）						
	Q82300S			Q82330S	Q82340S	Q82330S	Q82340S
ボトム	Q82300U						
ボード	Q82200B	Q82210B	Q82220B	Q82210B	Q82220B	Q82230B	Q82240B

9 開梱と部品の確認

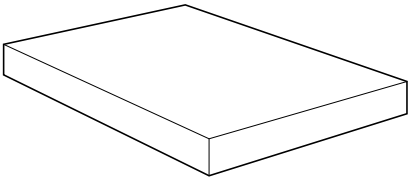
●開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。
万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または弊社コールセンター(61ページ参照)までご連絡ください。

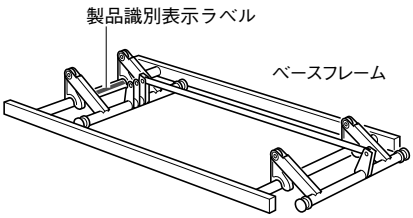
⚠注意

●組立てのときにはユニット同士やユニットの可動部で手をはさまないように注意してください。

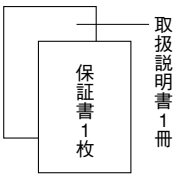
※（　）内の数字は梱包材を含む質量です。

❶ベースフレーム
Q82000V
約15.0kg
（18.0kg）

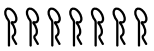


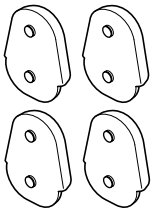


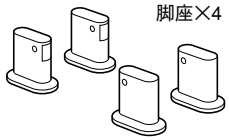
■付属品



■組立付属部品





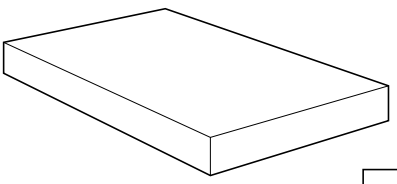


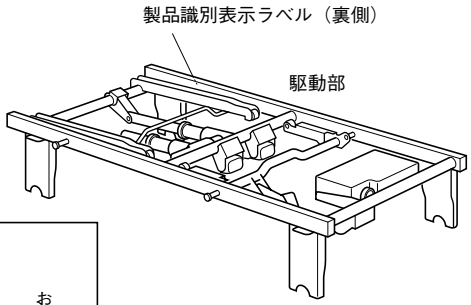
■スナップピンの使い方

図の状態になるまで確実に差込んでください。

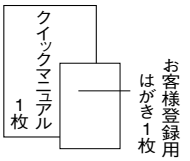
❷駆動部

2モーターシリーズ	3モーターシリーズ	らくらくモーションシリーズ
Q82000K	**Q83000K**	**Q86000K**
約19.5kg（22.5kg）	約20.5kg（24.0kg）	約20.5kg（24.0kg）





■付属品

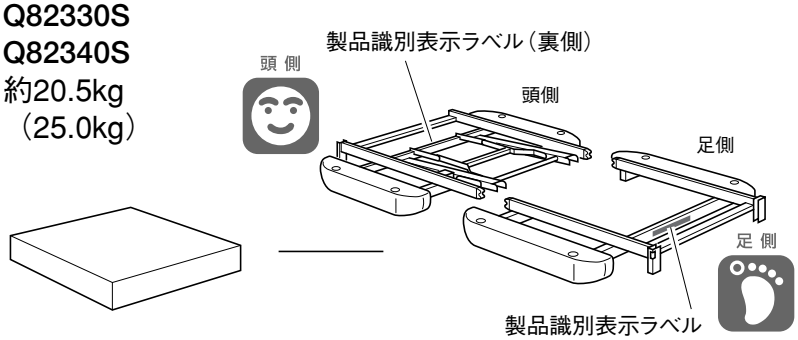


9 開梱と部品の確認

❸アクセサリー枠

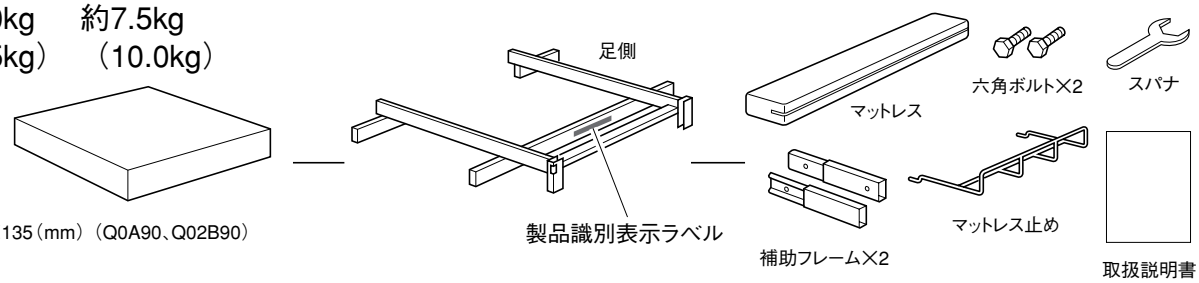
ミニ		レギュラー	
830mm	910mm	830mm	910mm
Q82000S	**Q82200S**	**Q82100S**	**Q82300S**
Q82030S	**Q82230S**	**Q82130S**	**Q82330S**
Q82040S	**Q82240S**	**Q82140S**	**Q82340S**
約20.0kg	約20.5kg	約20.5kg	約20.5kg
（23.5kg）	（24.5kg）	（24.0kg）	（25.0kg）

885×860×240（mm）（Q82100S、Q82130S、Q82140S）
885×930×240（mm）（Q82300S、Q82330S、Q82340S）
830×860×240（mm）（Q82000S、Q82030S、Q82040S）
830×930×240（mm）（Q82200S、Q82230S、Q82240S）



ロング用延長フレーム	
830mm	910mm
Q02A90	**Q02B90**
約7.0kg	約7.5kg
（9.5kg）	（10.0kg）

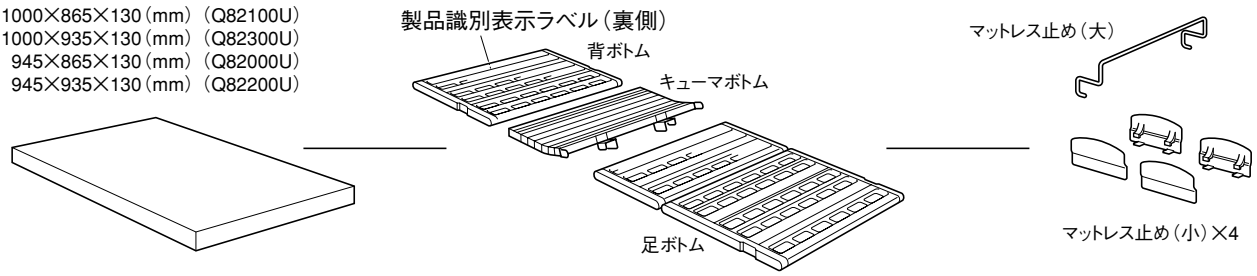
955×955×135（mm）（Q0A90、Q02B90）



❹ボトム

ミニ		レギュラー	
830mm	910mm	830mm	910mm
Q82000U	**Q82200U**	**Q82100U**	**Q82300U**
約17.5kg	約19.0kg	約18.5kg	約19.5kg
（20.0kg）	（21.0kg）	（20.5kg）	（22.0kg）

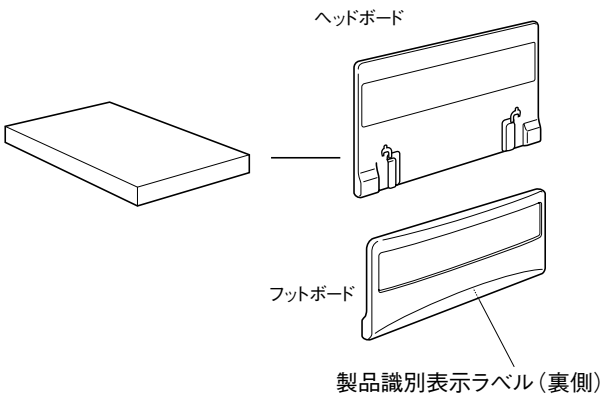
1000×865×130（mm）（Q82100U）
1000×935×130（mm）（Q82300U）
945×865×130（mm）（Q82000U）
945×935×130（mm）（Q82200U）



❺ボードセット

樹脂		木調	
830mm	910mm	830（レギュラー・ロング） 910mm共通	830mmミニ専用
Q82000B	**Q82200B**	**Q82230B**	**Q82030B**
Q82010B	**Q82210B**	**Q82240B**	**Q82040B**
Q82020B	**Q82220B**		
約6.0kg	約6.5kg	約9.5kg	約9.0kg
（7.5kg）	（8.0kg）	（11.5kg）	（10.5kg）

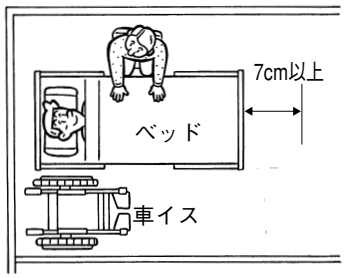
860×520×120（mm）（Q82000B、Q82010B、Q82020B）
930×520×120（mm）（Q82200B、Q82210B、Q82220B）
965×570×120（mm）（Q82230B、Q82240B）
895×570×120（mm）（Q82030B、Q82040B）



■ベッドを設置するにあたって下記の条件を考慮してください。

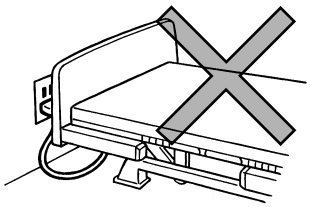
●一度組立ててしまいますと部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

❶



❶ベッドの周辺のスペースを確保してください。ベッドで療養する方がベッドから起きあがる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車いすをご使用の場合はベッドのどちら側で使用するかによって必要なスペースを確保してください。介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるか(シーツ交換だけか、おむつ交換、着替え、洗髪、歯磨き、食事の介助等が必要かどうかによってベッドの周囲をどれだけあけるか)を考慮してください。

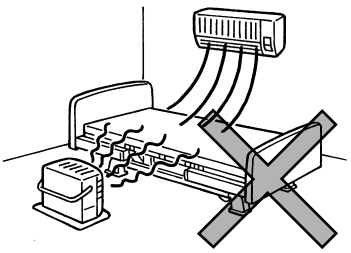
❹



●ベッドの高さ操作時、ベッドは足側に動きます。足側には7～8cm以上のスペースを確保してください。

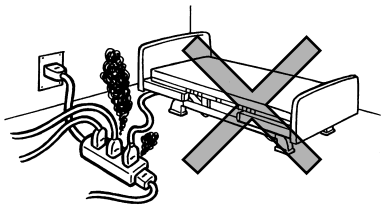
❷水平なゆかに設置してください。

❺



❸ベッドの質量は約80kgです。寝具およびオプション(付属品)にベッドで療養する方の体重を加えた総質量が、ベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。

❻

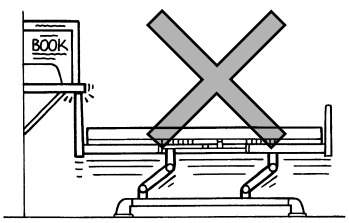


❹電源プラグの抜き差しができなくなる所にはベッドを設置しないでください。誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。

❺冷暖房器による冷気や暖気が、ベッドに直接当たらないようにしてください。

❻ベッドの電源は直接コンセントからとってください。コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続使用すると、電源コードやプラグが発熱するおそれがあります。

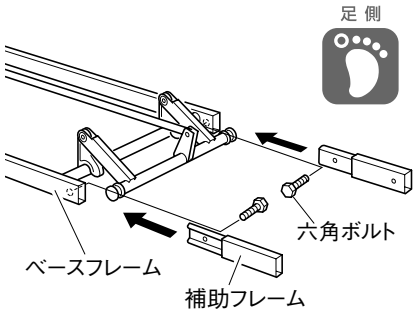
❼

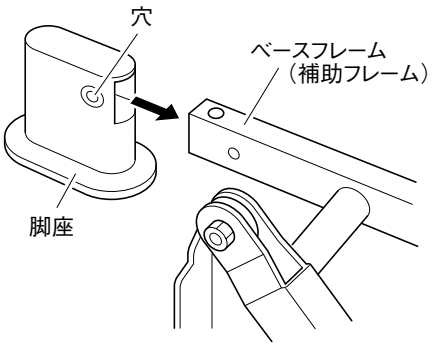


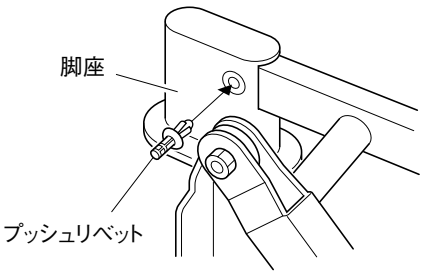
❼ベッドは電動操作で動きます。特に高さ方向については、ベッドの高さ寸法が増すことによってベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などに当たらないように配慮してください。

11 ベッドの組立方法

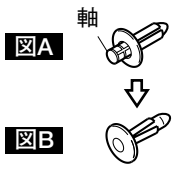
1.脚座の取付け







プッシュリベットを取付けるときは



❶組立前に28ページの「設置について」に従い、ベッドの配置をお決めください。

下記❷、❸はロングおよび延長フレームを取付けるベッドの作業です。

❷足側のベースフレーム先端に補助フレームを差込んでください。（左右各1カ所）

注記！ **●補助フレームは延長フレームに梱包されています。**

●補助フレームは穴のあいている方を内側にしてください。

❸付属の六角ボルトで補助フレームをベースフレームに固定してください。

注記！ **●ボルトの締付けは、付属のスパナを使用してください。**

❹ベースフレーム（補助フレーム）を持ち、先端に脚座を差込んでください。（4カ所）

注記！ **●脚座には左右があります。穴のあいている方を内側にしてください。**

❺プッシュリベットが図Aのような状態であることを確認してください。（なっていない場合は図Aの状態にしてください。）

❻ベースフレーム（補助フレーム）と脚座の穴位置を合わせプッシュリベットを差込んでください。

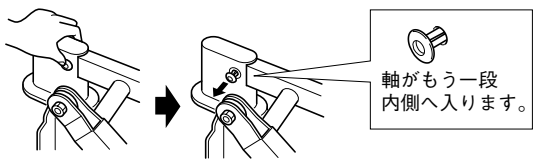
❼プッシュリベットの軸を押込んで図Bの状態にして、脚座をベースフレーム（補助フレーム）に固定してください。（4カ所）

プッシュリベットを外すときは

●カチッと音がするまで指で軸をさらに押込んでください。固定が解除されますので、そのまま抜いてください。

※指で押込めない場合は、押込みすぎないように注意してドライバー等で軽く押込んでください。

※再度取付ける際は、**図A**の状態にしてください。

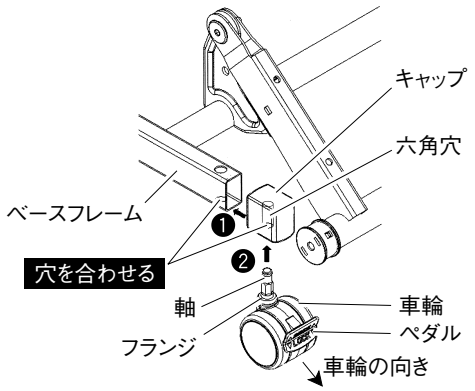


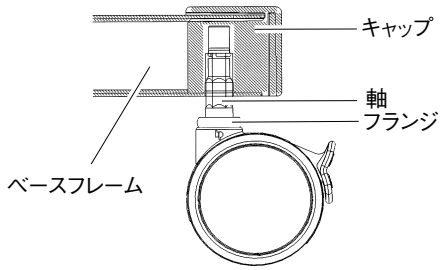
⚠ 警告（けいこく）

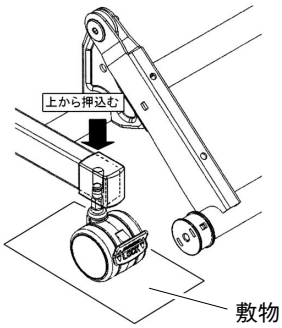
●ボルトで補助フレームを、プッシュリベットで脚座を確実に固定してください。固定されていない場合、補助フレームや脚座が外れてけがや破損の原因となります。

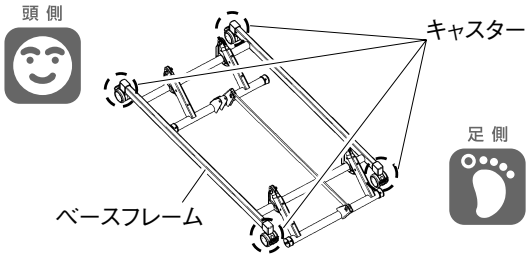
2.「キャスター・ハイトスペーサー」(別売)の取付け

■キャスター(KQ-39)の取付け(ロングおよび延長フレームを取付けたベッドには適合しません。)



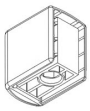






■組立付属部品

キャスター
(ストッパー付)
(4個)


キャップ
(4個)

※次の❶～❸の作業を4カ所すべてについて行ってください。

❶ベースフレームの先端に、キャップを奥まで差込み、キャップとベースフレームの穴位置を確実に合わせてください。

❷キャスターを図の向きにして、キャスターの軸(六角部)をキャップの穴の途中まで差込んでください。

●キャスターの軸(六角部)をキャップの穴に確実に合わせて、差込んでください。

❸車輪をゆかに接地させ、ベースフレームの上面を手で押して、キャスターの軸をキャップの中に完全に押込んでください。

●ベースフレーム上面を手で押してキャスターを押込む際に、ベースフレームとキャスターの間に指をはさまないように注意してください。また、押込む際にはゆか材を保護するためキャスターの下に敷物(脚座カーペットなど)をしてください。

●キャスター取付け後、フランジとベースフレーム下面が接することを確認してください。

●キャスターが下図のように4カ所に取付いていることを確認してください。

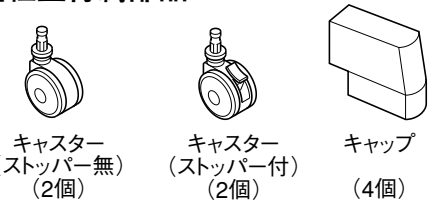
●キャスター4輪すべてを固定状態にしていることを確認してからベッドの組立てを行ってください。

⚠ 警告(けいこく)	●ベッドを移動させるとき以外は、4カ所のキャスターすべてを固定状態にしてください。ベッドに乗り降りする際に、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。
⚠ 注意(ちゅうい)	●キャスターが固定された状態でベッドを無理に動かすと、ベッドおよびキャスターが故障するおそれがあります。

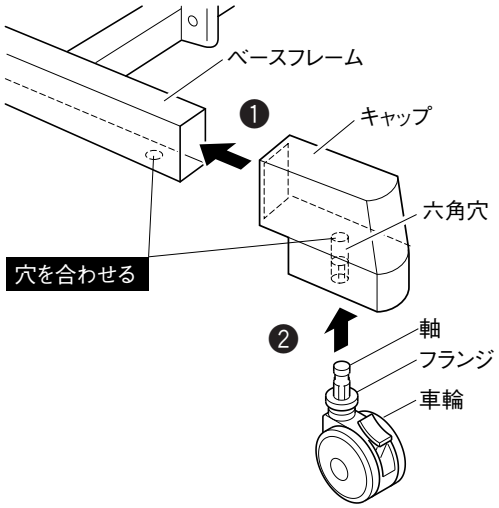
11 ベッドの組立方法

■キャスター(KQ-029)の取付け(ロングおよび延長フレームを取付けたベッドには適合しません。)

■組立付属部品



キャスター（ストッパー無）（2個）　キャスター（ストッパー付）（2個）　キャップ（4個）



❶ベースフレームの先端に、キャップを奥まで差込み、キャップとベースフレームの穴位置を確実に合わせてください。

❷キャスターの軸をキャップの六角穴に合わせ、カチッと音がするまで差込んでください。

注記

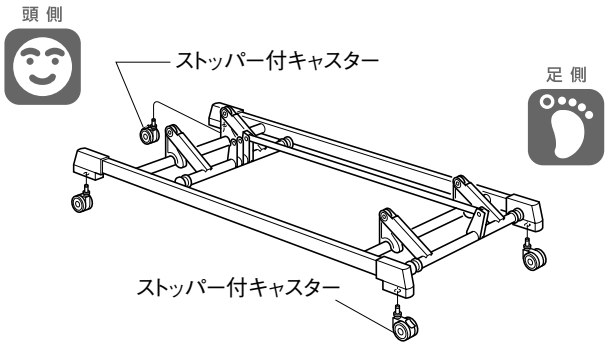
●このとき、フランジとキャップが接していることを確認してください。

●ストッパー付のキャスターは下図のように対角の位置に取付けてください。

●キャスターの軸（六角部）をキャップの穴に確実に合わせて、差込んでください。

●キャスターを差込む際に、指をはさまないよう注意してください。

●対角2カ所のキャスターを固定状態にしていることを確認してベッドの組立てを行ってください。

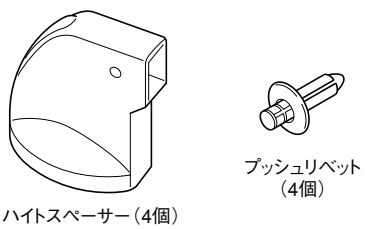


⚠ 警告（けいこく）

●ベッドを移動させるとき以外は、対角2カ所のキャスターを固定状態にしてください。ベッドに乗り降りする際に、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

■ハイトスペーサー(KQ-028)の取付け

■組立付属部品



ハイトスペーサー（4個）　プッシュリベット（4個）

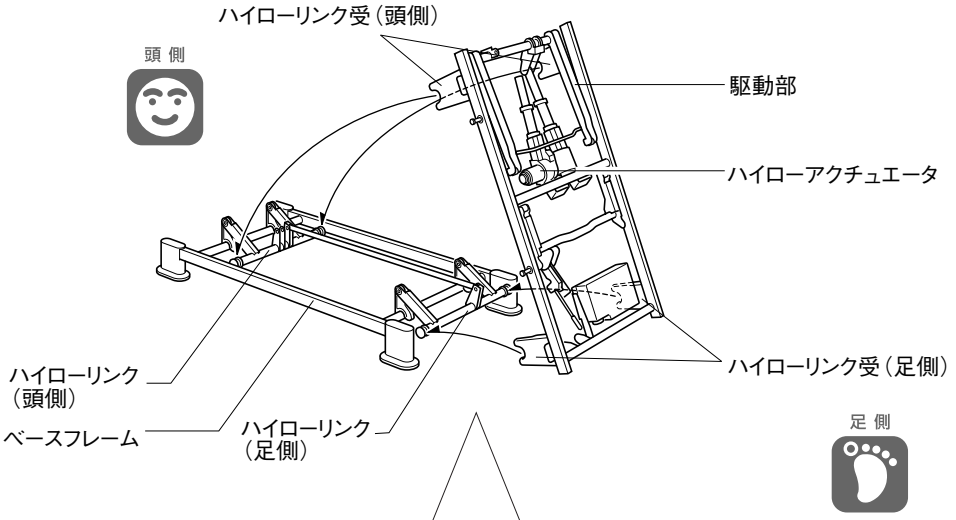
●ハイトスペーサーの取付け方は脚座と同じです。29ページの「脚座の取付け」に従ってハイトスペーサーを取付けてください。

注記

●あらかじめ脚座が取付けてある場合には、29ページの「プッシュリベットを外すときは」に従ってプッシュリベットを外し、脚座を取外してください。

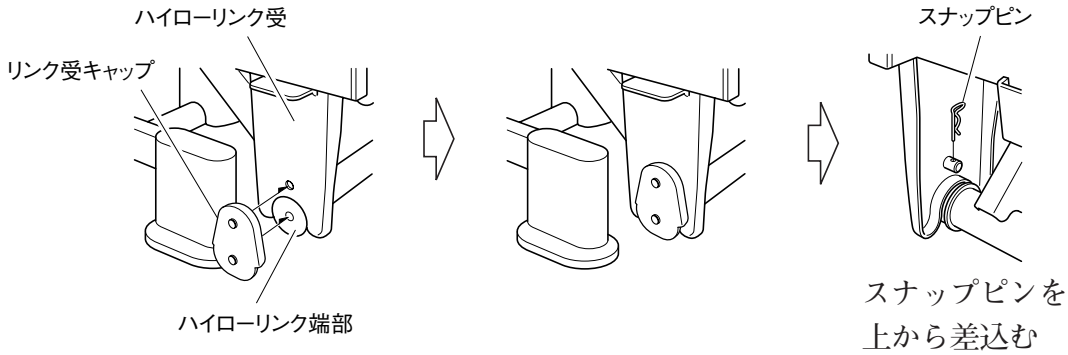
3.駆動部の取付け

❶図のようにハイローリンク(足側)の上にハイローリンク受(足側)をのせて駆動部をゆっくり倒し、ハイローリンク(頭側)の上にハイローリンク受(頭側)をのせてください。



❷リンク受キャップをハイローリンク端部の穴およびハイローリンク受の穴に差込んでください。(4カ所)

❸ハイローリンク受の裏側でリンク受キャップの穴にスナップピンを確実に差込み、リンク受キャップを固定してください。(4カ所)

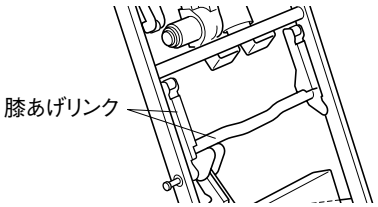


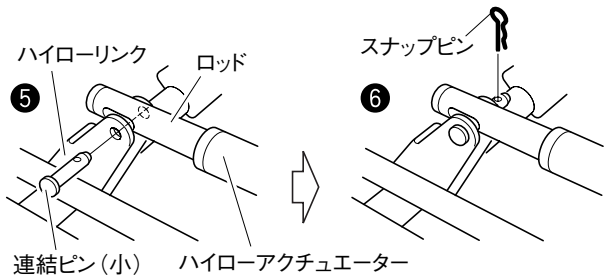
⚠ 警告

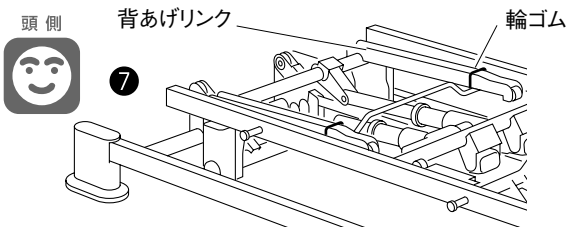
●リンク受キャップは奥まで差込み、裏側でスナップピンを確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損しけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

●膝あげリンクを持って運搬や組立てを行わないでください。けがや破損の原因になります。







❹ハイローアクチュエーターのロッドを固定しているバンドを取外してください。

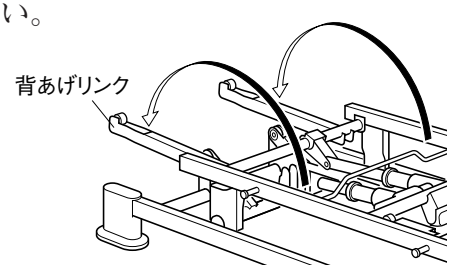
❺ハイローアクチュエーターのロッド先端とベースフレームのハイローリンクを付属の連結ピン（小）で連結してください。

❻連結ピン（小）の穴にスナップピンを差込んでください。

❼背あげリンクを固定している輪ゴムを取外してください。

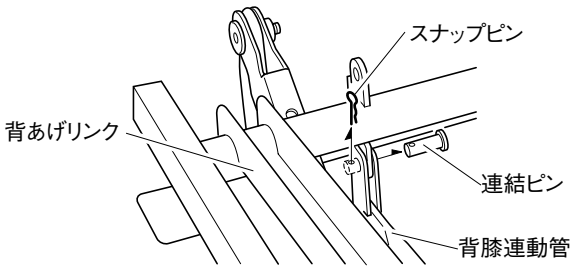
らくらくモーション・3モーターシリーズ

❽背あげリンクを回転させて外側に出してください。

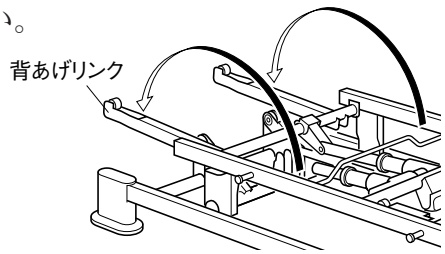


2モーターシリーズ

❽背膝連動管の先端（頭側）を連結している連結ピンとスナップピンを取外してください。



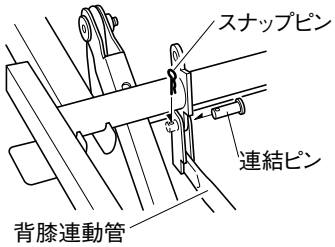
❾背あげリンクを回転させて外側に出してください。



❿2モーターシリーズは背膝連動管の先端（頭側）と背あげリンクを❽で取外した連結ピンとスナップピンで連結してください。

注記

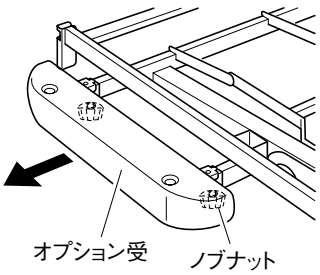
●連結ピンはベッドの内側から差込んでください。



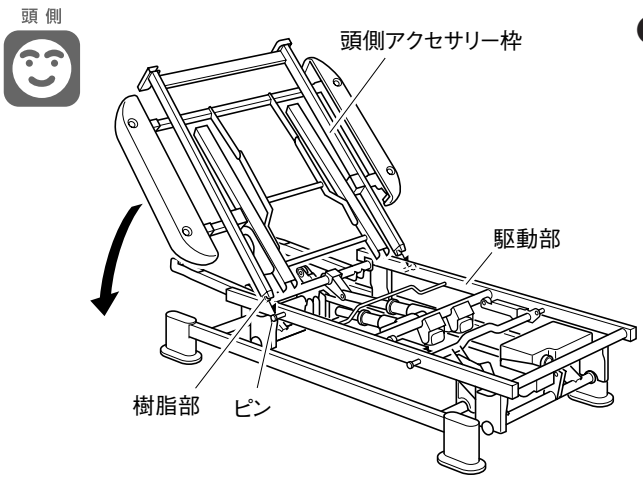
4.アクセサリー枠の取付け

⚠ 警告（けいこく）	●ノブボルト（黒）は確実に締付けてください。ノブボルトがゆるんでいると、ベッドが落下してけがをするおそれがあります。 ●オプション受は最後まで引出し、ノブナットでしっかりと固定した状態でご使用ください。最後まで引出されていなかったり、しっかりと固定していない状態で使用すると、オプション受がぐらついたりはずれたりして、けがをするおそれがあります。

レギュラー、ミニ

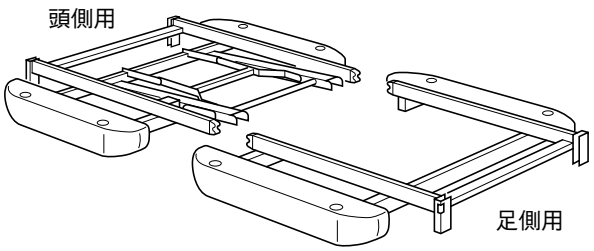


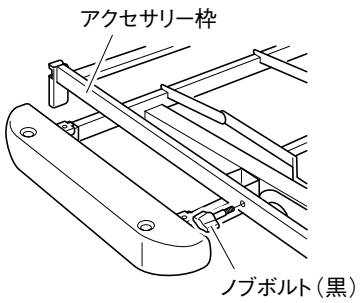
❶頭側及び足側アクセサリー枠のオプション受を固定しているノブナットをゆるめてオプション受を最後まで引出し、再度ノブナットを締付けてください。(8カ所)



❷頭側及び足側アクセサリー枠の樹脂部を駆動部のピンに合わせて、駆動部の上にのせてください。

●アクセサリー枠には頭側用と足側用があります間違えないように取付けてください。

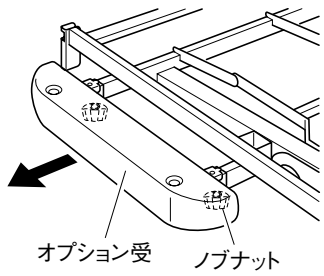


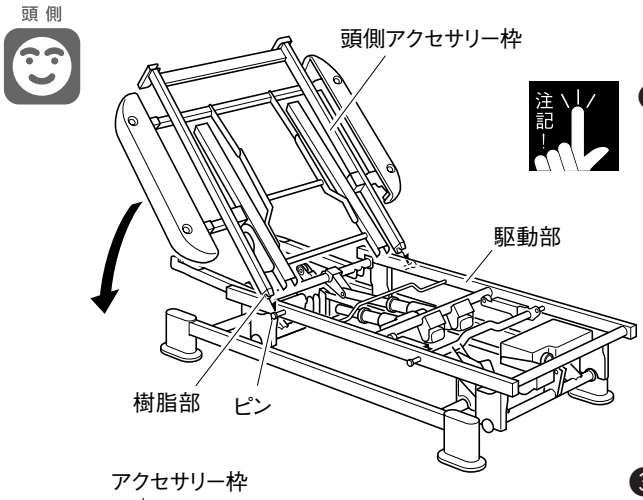


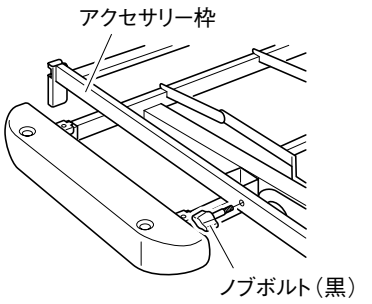
❸付属のノブボルト（黒）で頭側及び足側アクセサリー枠を駆動部に固定してください。(左右各2カ所)

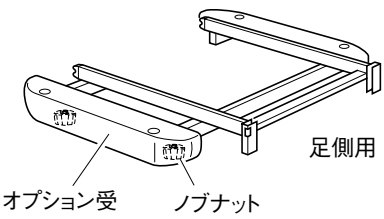
11 ベッドの組立方法

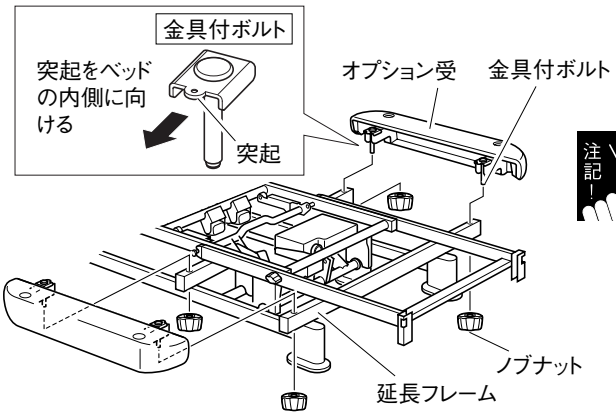
ロング









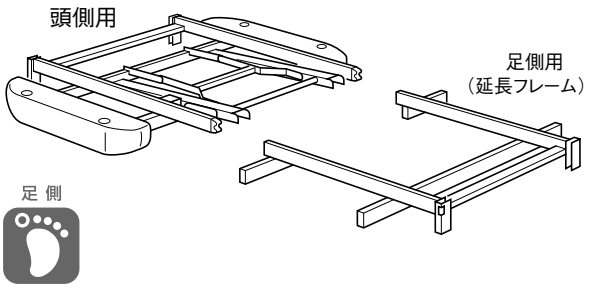


注記！ **●ベースフレームに補助フレームが取付いていることを確認してください（29ページ参照）。**

❶頭側アクセサリー枠のオプション受を固定しているノブナットをゆるめて、オプション受を最後まで引出し、再度ノブナットを締付けてください。（左右各2カ所）

❷頭側アクセサリー枠、延長フレームの樹脂部を駆動部のピンに合わせて、駆動部の上にのせてください。

注記！ **●延長フレームは足側に取付けてください。**



❸付属のノブボルト（黒）で頭部アクセサリー枠、延長フレームを駆動部に固定してください。（左右各2カ所）

❹足側アクセサリー枠のオプション受を固定しているノブナットを外し、オプション受を取外してください。

注記！ **●オプション受を取外した足側アクセサリー枠は使用しません。**

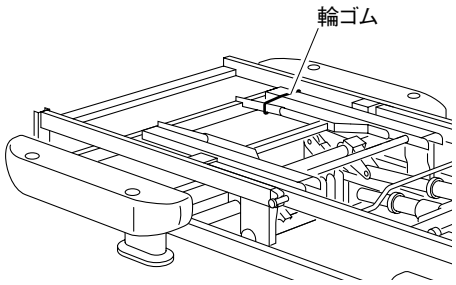
❺❹で取外したオプション受の金具付ボルトが、延長フレームの穴に合うようにのせてください。

❻オプション受を最後まで引出し、金具付ボルトをノブナットで固定してください。（左右各2カ所）

注記！ **●金具付ボルトの突起がベッドの内側を向いていることを確認してください。（4カ所）**

5.キューマボトムの取付け

⚠注意	●電源コードは必ずベースフレームの下側を通し、可動部分との接触がないことを確認した上で、コンセントまで配線してください。断線や破損のおそれがあります。

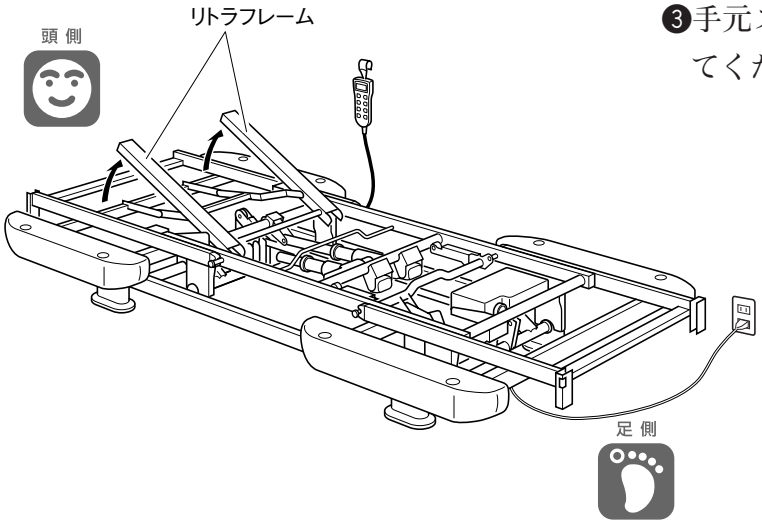


●作業をしやすくするために、リトラフレームをあげてください。

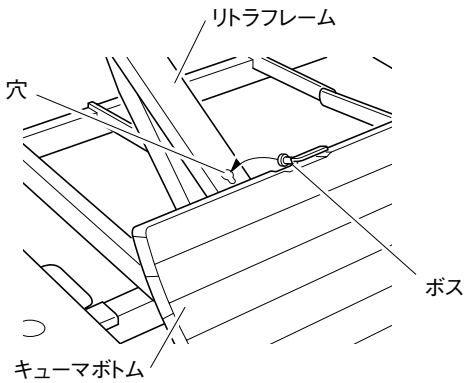
❶リトラフレームを固定している輪ゴムを外してください。

❷ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。

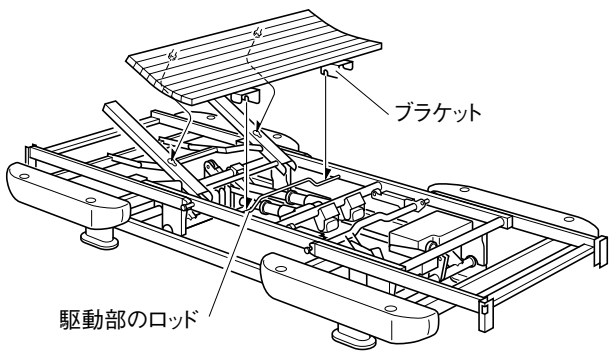
❸手元スイッチでリトラフレームを約40°あげてください。



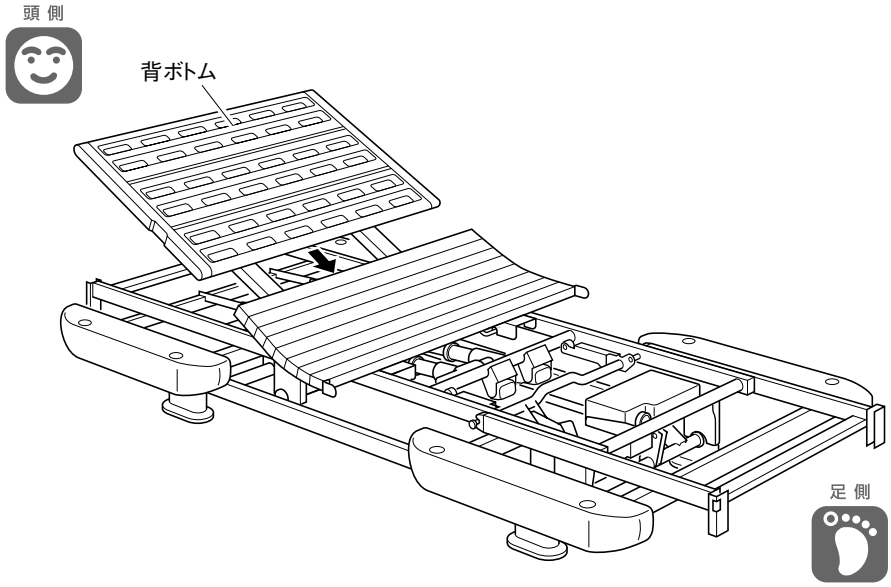
❹キューマボトムの左右のボスを、リトラフレームの穴に差込んでください。

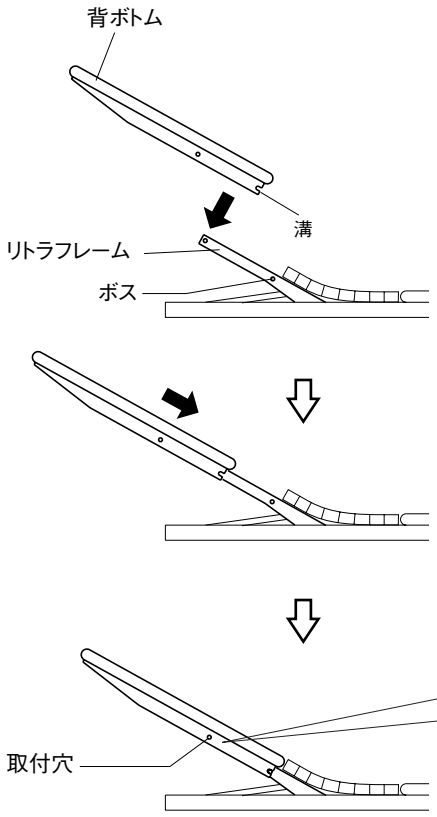


❺左右のブラケットの溝を、駆動部のロッドに差込んでください。



6.背ボトムの取付け





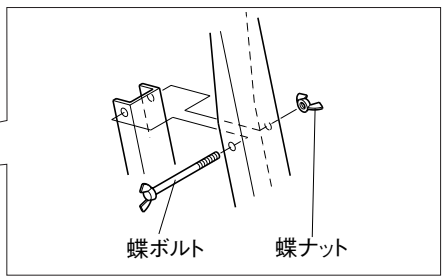
❶図のように背ボトムをリトラフレームにのせてください。

❷背ボトムを足側へスライドさせ、背ボトムの溝をリトラフレームのボスに差込んでください。

❸背ボトムとリトラフレームの取付穴(左右各1カ所)に外側から蝶ボルトを差込み、蝶ナットで締付けてください。

注記

●蝶ナットは左右とも、手で十分に締めてください。(工具不要)

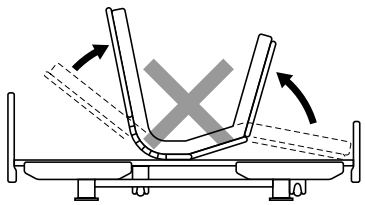


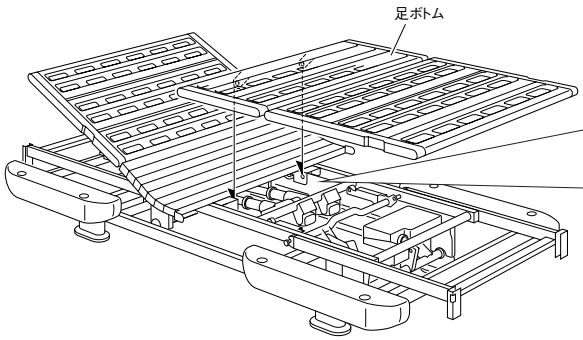
❹手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下までさげ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

7.足ボトムの取付け

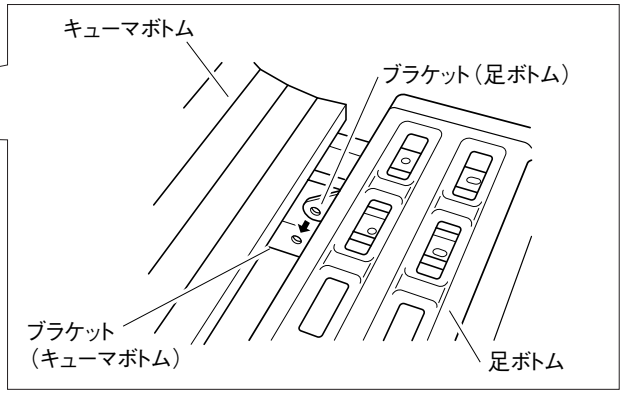
⚠注意

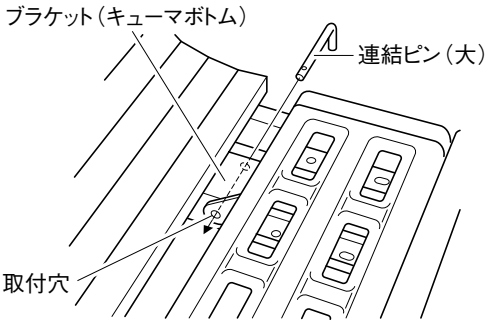
●背ボトム、足ボトムを持ちあげて逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。変形・破損のおそれがあります。





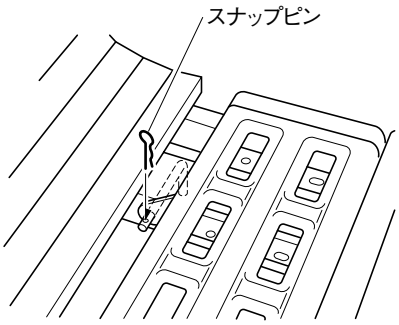
❶足ボトムのブラケット穴をキューマボトムのブラケット穴の位置に合わせ、足ボトムをのせてください。



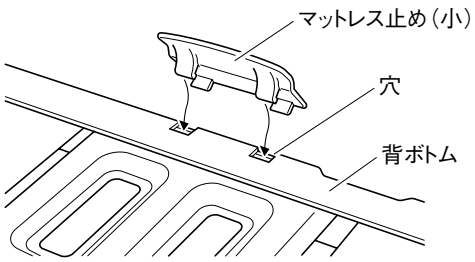


❷駆動部の取付穴（左右各1カ所）に連結ピン（大）を外側から差込み、各ボトムと駆動部を連結してください。

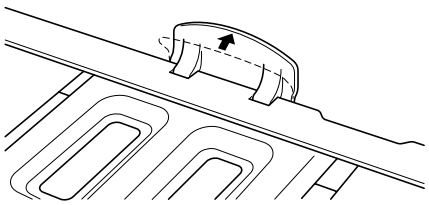
❸連結ピン（大）の穴にスナップピンを差込んでください。



8.マットレス止めの取付け



❶マットレス止め（小）を背ボトム、足ボトム両端の穴に斜めに差込んでください。
（背ボトム・足ボトム各2カ所）

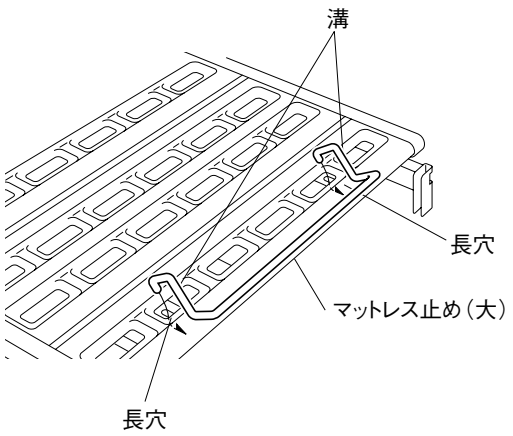


❷マットレス止め（小）を起こしてください。

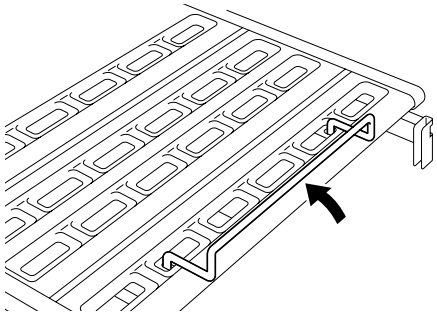
●マットレス止め（小）の取付け後、軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。

レギュラー・ミニサイズ

❸マットレス止め（大）を傾けた状態で、マットレス止め（大）を内側に押しながら先端を足ボトムの長穴に差込んでください。

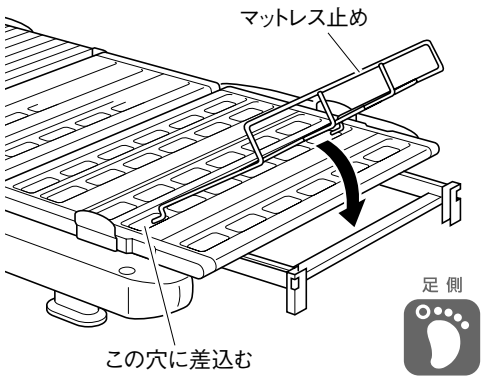


❹マットレス止め（大）を起こし、溝部を足ボトムの長穴にはめてください。



ロングサイズ

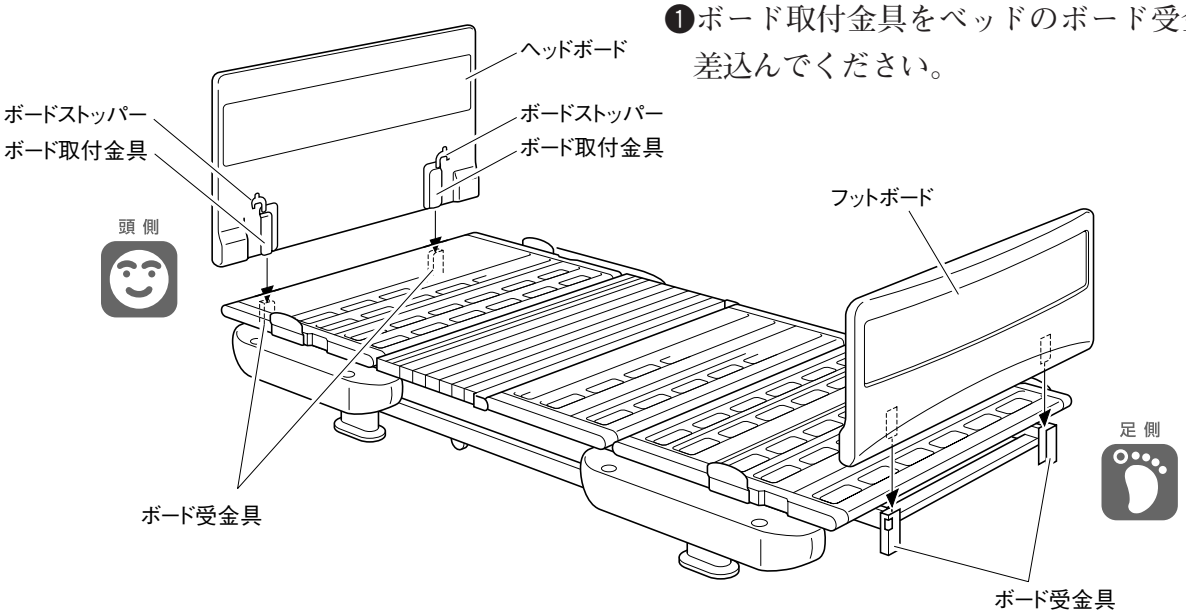
❸足ボトムの穴に延長フレーム用のマットレス止めの先端を斜めに差込んでください。



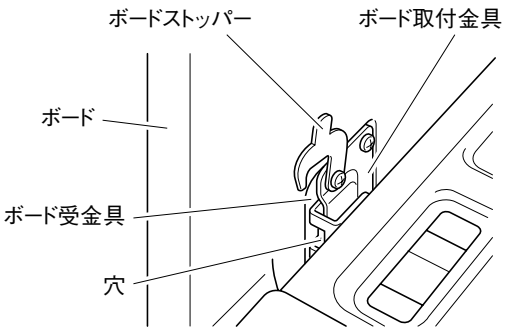
❹マットレス止めをたおしてください。

9.ヘッドボード・フットボードの取付け

■ヘッドボード・フットボードにはボードストッパーが付いています。下記の手順で取付けてください。ともに、まっすぐ最後まで差込んでください。

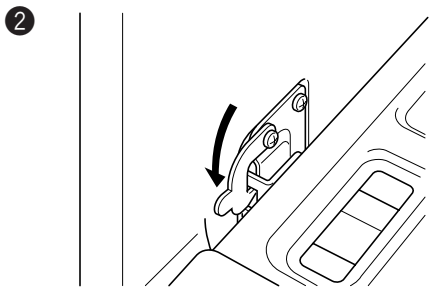


❶ボード取付金具をベッドのボード受金具に差込んでください。



❷ヘッドボード・フットボードのボードストッパーを左図のように穴へ差込んでください。

●ボードの上部に安全ラベル（警告、注意事項が記載されているシール）が貼ってある方を足側に取付けてください。



❸組付け後、ボードストッパーがボード受金具の穴に掛かっているか、必ず確認してください。

⚠注意	●ボードストッパーを掛け忘れたり、掛けかたが不完全な場合、不意にボードが外れてけがをするおそれがあります。 ●ボードを取付ける際は、落下させないよう注意してください。足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけたりするおそれがあります。

12 組立て後の点検

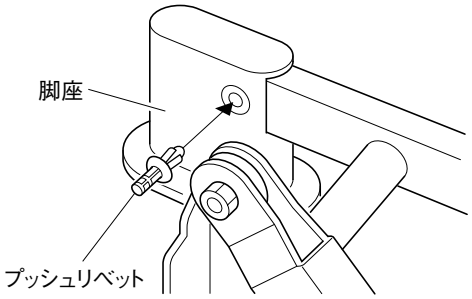
■ベッドの組立てが終わりましたら、このチェックシートで点検してください。(41～42ページをコピーしてお使いください。)
■点検は日常ご使用の際にも行ってください。

⚠ 警告	●組立て後の点検は必ず行ってください。点検が不十分な状態で使用すると、事故や故障が発生するおそれがあります。
⚠ 注意	●手元スイッチを操作しながら点検作業をしている際に異常音や振動が生じた場合には、すぐにベッドの使用を中止し、弊社コールセンター(61ページ参照)までご連絡ください。

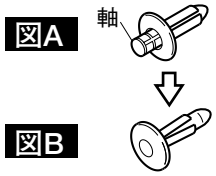
点検項目	チェック	
1 **脚座の取付け(4カ所)** ・4カ所すべての脚座がはまり、プッシュリベットがきちんと取付けられていますか？(次頁図1参照)	□はい	□いいえ **29ページ参照**
2 **リンク受キャップの取付け(4カ所)** ・4カ所すべてのリンク受キャップがはまり、裏側にスナップピンがきちんと差込まれていますか？(次頁図2参照)	□はい	□いいえ **32ページ参照**
3 **ハイローアクチュエーターのロッドとハイローリンクの連結** ・連結ピン(小)にスナップピンが差込まれていますか？(次頁図3参照)	□はい	□いいえ **33ページ参照**
4 **電源コードの確認** ・コードはベースフレームの下側に配線されていますか？ ・可動部と接触していませんか？	□はい	□いいえ **36ページ参照**
5 **背ボトムの取付け(左右各1カ所)** ・蝶ボルト、蝶ナットで締付けられていますか？(右図5参照)	□はい	□いいえ **37ページ参照**
6 **足ボトムの取付け(左右各1カ所)** ・連結ピン(大)にスナップピンが差込まれていますか？(右図6参照)	□はい	□いいえ **38ページ参照**
7 **オプション受の固定(8カ所)** ・オプション受は最後まで引出してから、ノブナットで締付けられていますか？(右図7参照)	□はい	□いいえ **34、35ページ参照**
8 **アクセサリー枠と駆動部の固定(4カ所)** ・頭側、足側ともにノブボルト(黒)で締付けられていますか？(右図8参照)	□はい	□いいえ **34、35ページ参照**
9 **電源の確認** ・プラグをコンセントに差込むと手元スイッチのランプが点灯しますか？	□はい	□いいえ **点灯せず→50ページ参照** **点　　滅→※1**
10 **アクチュエーターの確認** ・手元スイッチの「さがる」ボタンをひとつずつ押したとき、電源ランプが点滅しますか？	□点滅しない	□点滅する **50ページ参照**
11 **障害物の確認 ①** ・手元スイッチで背ボトムを一番上まであげたとき、家具などに当たりませんか？	□当たらない	□当たる **ベッドを移動するか、障害物を取り除いてください。**
12 **障害物の確認 ②** ・背をあげたままベッドの高さを一番上まであげたとき、どこかが家具などに当たりませんか？	□当たらない	□当たる **ベッドを移動するか、障害物を取り除いてください。**

※1　調整、点検が必要です。販売店もしくは弊社コールセンター(61ページ参照)までご連絡ください。

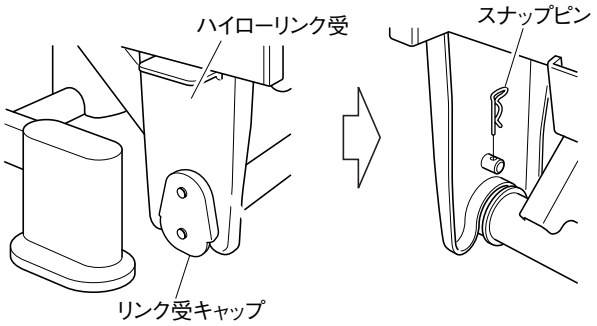
1 脚座の取付け



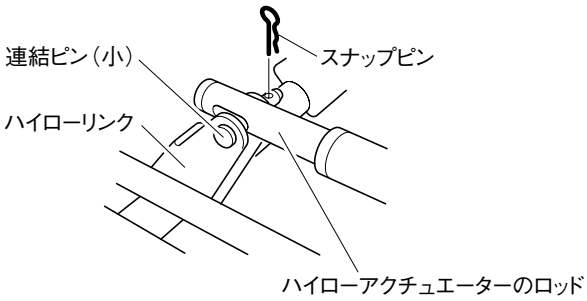
プッシュリベットを取付けるときは



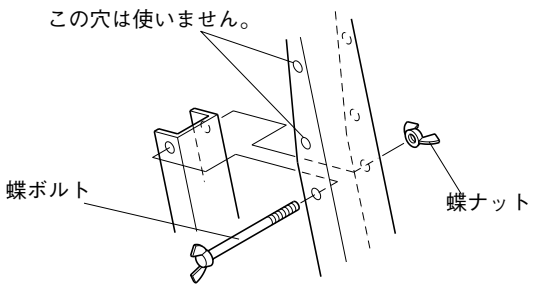
2 リンク受キャップの取付け



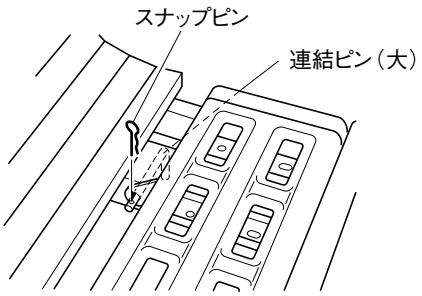
3 ハイローアクチュエーターのロッドとハイローリンクの連結



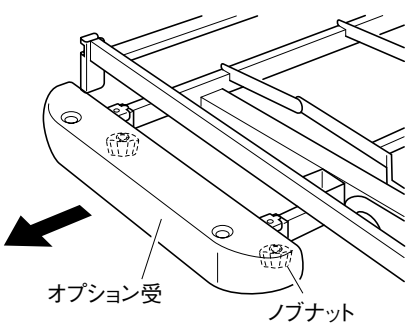
5 背ボトムの取付け（左右各1カ所）



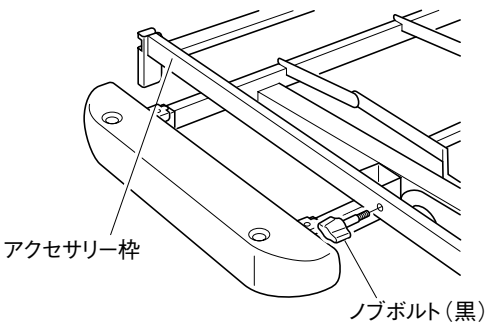
6 足ボトムの取付け（左右各1カ所）



7 オプション受の固定（8カ所）



8 アクセサリー枠と駆動部の固定（4カ所）



13 マットレスの使用方法とご注意

⚠注意（ちゅうい）	●このベッドには、必ず指定のマットレスを組合せてご使用ください。指定以外のマットレスは、寸法や折れ曲がりの点で、適合しないだけでなく、柵にはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけ、故障の原因となることがあります。

■レギュラーサイズベッド適合マットレス

KE-653（幅830mm） KE-651（幅910mm）	パラケアスーパーマットレス	●硬めのマットレスです。腰掛けた時、手をついた時の沈み込みが少なく、体の保持と安定性に優れています。ご自身でベッドからの立あがりを行う方や硬めの寝心地を望まれる方に適しています。 ●硬すぎる場合にはマットレスに敷くパッドを重ねるか、厚みのあるシーツなどを使用してください。 ●上下、表裏の区別はありません。
KE-603Q（幅830mm） KE-601Q（幅910mm）	パラケアマットレス	
KE-553Q（幅830mm） KE-551Q（幅910mm）	プレグラーマットレス	●パラケアマットレスに比べ柔らかめのマットレスです。柔軟性に優れ、キューマラインとの組合せに適しています。 ●上下、表裏の区別はありません。
KE-153Q（幅830mm）	ファータマットレス	●パラケアマットレスに比べ柔らかめのマットレスです。下記のクレーターマットレス程には柔らかくありませんので、広範囲にお使いいただけます。 ●上下、表裏の区別はありません。
KE-453（幅830mm） KE-451（幅910mm）	ポケットコイル スプリングマットレス	●スプリングコイルが列ごとに独立しているので、どの部分でも折り曲げることができ、ギャッチベッドに適しています。 ●表裏の区別はありません。
KE-763（幅830mm） KE-761（幅910mm）	クレーターマットレス	●ウレタンフォームマットレスで上記のパラケアマットレスやファータマットレスに比べ柔らかめです。ベッド上で過ごす時間の長い方に適しています。 ●表面と裏面がありますのでマットレスの表示を上にしてご使用ください。
KE-523Q（幅830mm） KE-521Q（幅910mm）	エバーフィットマットレス	●両面で硬さが異なるリバーシブル仕様になっています。ソフトフィット面は適度な体圧分散性を備えており、また、ハードフィット面はからだをしっかり支える硬さを備えております。
KE-813（幅830mm） KE-811（幅910mm）	コンフォケアマットレス	●かなり柔らかめの体圧分散マットレスです。他のマットレス同様、直接ベッドに載せて使用します。寝たきり、もしくは寝たきりに近い症状の方にお勧めします。 ●上下、表裏が決まっています（パラフロートマットレス、コンフォケアマットレスは表裏のみ）。マットレスの表示に合わせてご使用ください。
KE-803（幅830mm） KE-801（幅910mm）	マキシーフロートマットレス	
KE-853（幅830mm） KE-851（幅910mm）	パラフロートマットレス	
KE-823（幅830mm） KE-821（幅910mm）	アキュマックス	

■ミニサイズベッド適合マットレス

KE-5531Q（幅830mm） KE-5511Q（幅910mm）	プレグラーマットレス	●パラケアマットレスに比べ柔らかめのマットレスです。柔軟性に優れ、キューマラインとの組合せに適しています。 ●上下、表裏の区別はありません。
KE-5231Q（幅830mm） KE-5211Q（幅910mm）	エバーフィットマットレス	●両面で硬さが異なるリバーシブル仕様になっています。ソフトフィット面は適度な体圧分散性を備えており、また、ハードフィット面はからだをしっかり支える硬さを備えております。
KE-8031（幅830mm） KE-8011（幅910mm）	マキシーフロートマットレス	●かなり柔らかめの体圧分散マットレスです。他のマットレス同様、直接ベッドに載せて使用します。寝たきり、もしくは寝たきりに近い症状の方にお勧めします。 ●上下、表裏が決まっています。マットレスの表示に合わせてご使用ください。

14 オプションの取付けとご注意

1.介助バー・サイドレール・サイドサポートについて

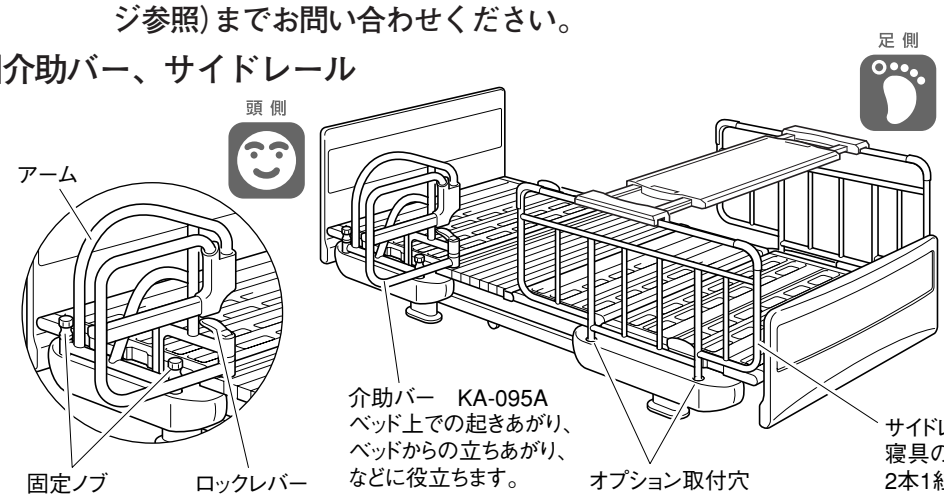
■ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、介助バー、サイドレール、サイドサポートが使用できます。
■安全のため、使用者が転落するおそれがある場合などにはサイドレールまたはサイドサポートをご使用ください。

⚠ 警告（けいこく）	
	●オプション間のすき間やオプションとヘッド･フットボードのすき間に、頭や首が入らないように注意してください。すき間に入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。

注記

●各オプションに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。
●ベッド用のオプションを別途購入し組合せる場合は、仕様変更等によりこの取扱説明書の記述と異なる場合があります。ご不明な点は販売店または弊社コールセンター(61ページ参照)までお問い合わせください。

■介助バー、サイドレール



サイドレール適合表	
KS-165	KA-018
KS-160Q	KS-125シリーズ
KS-175	KS-145シリーズ
KS-170Q	KS-195
KS-019	KS-190
KA-015	KA-19

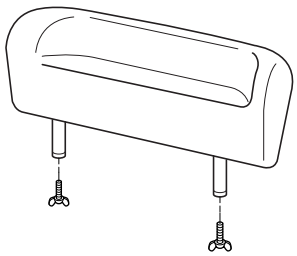
※KS-190、KS-195、KA-19は
KA-095との組合わせ専用です。

介助バー適合表	
KA-095	KA-095A
	KA-095B

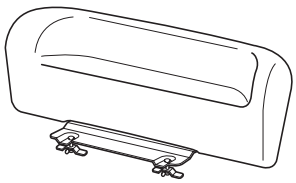
⚠ 警告（けいこく）	
介助バー	介助バーは、固定ノブを締めてご使用ください。介助バーが抜けると、転倒してけがをするおそれがあります。
	ベッドの背あげ操作を行うときは、アームをベッドの内側に向けて使用しないでください。アームとベッドの間に体や手をはさまれてけがをするおそれがあります。
	アーム可動部分のロックレバーを必ずいちばんさげて固定してご使用ください。固定せずに使用しますと不安定なため、つかまったときに転倒してけがをするおそれがあります。
サイドレール	サイドレールは、ベッドで寝ている人の転落予防、寝具の落下予防を目的としています。立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合は介助バーをお使いください。サイドレールはベッドへの取付け、取外しが素早く行なえるように、ストッパー機構は付いておりません。体重がかかっている状態で抜けると転倒してけがをするおそれがあります。 サイドレールを取付けの際は、ヘッドボード･フットボードから大きくとび出さない向きに取付けてください。とび出したサイドレールでけがをするおそれがあります。

■サイドサポート

差込式



ボトム追従式



サイドサポート適合表	
差込式	ボトム追従式
KA-037A KA-037B	KA-038A KA-038B

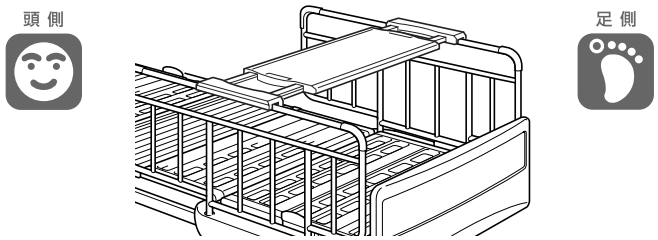
※ボトム追従式は背ボトム専用です。

注記 ●サイドサポートは、ご使用のマットレスに合わせて高さ調節ができます。詳細はサイドサポートの取扱説明書をお読みください。

⚠ 警告（けいこく）	
	●ボトム追従式は裏側の蝶ナットを確実に固定してください。固定しないと、けがや破損の原因になります。

2.オーバーテーブル・キャスター・ハイトスペーサーについて

■オーバーテーブル



オーバーテーブル適合表	
830mmタイプ	910mmタイプ
KQ-090 KQ-060M	KQ-090 KQ-060L

注記 ●オーバーテーブルはサイドレールにのせて使用します。単独では使用できません。KS-165などと組合せてください。

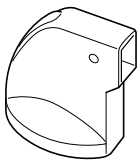
⚠ 警告（けいこく）	
	●ベッドの背あげ・膝あげを行う場合は、テーブルをベッドから外してください。テーブルとベッドの間などにはさまれて、けがをするおそれがあります。

■キャスター、ハイトスペーサー

キャスター（KQ-39）

キャスター（KQ-029）

ハイトスペーサー（KQ-028）



ゆかからボトム面までの高さ

KQ-39	250mm～580mm
KQ-029	292mm～622mm
KQ-028	

注記 ●キャスター（KQ-39・KQ-029）はロングおよび延長フレームを取付けたベッドには適合しません。
●キャスター（KQ-029）、ハイトスペーサーを使用した場合、ゆかからボトム面までの高さが約42mm高くなります。

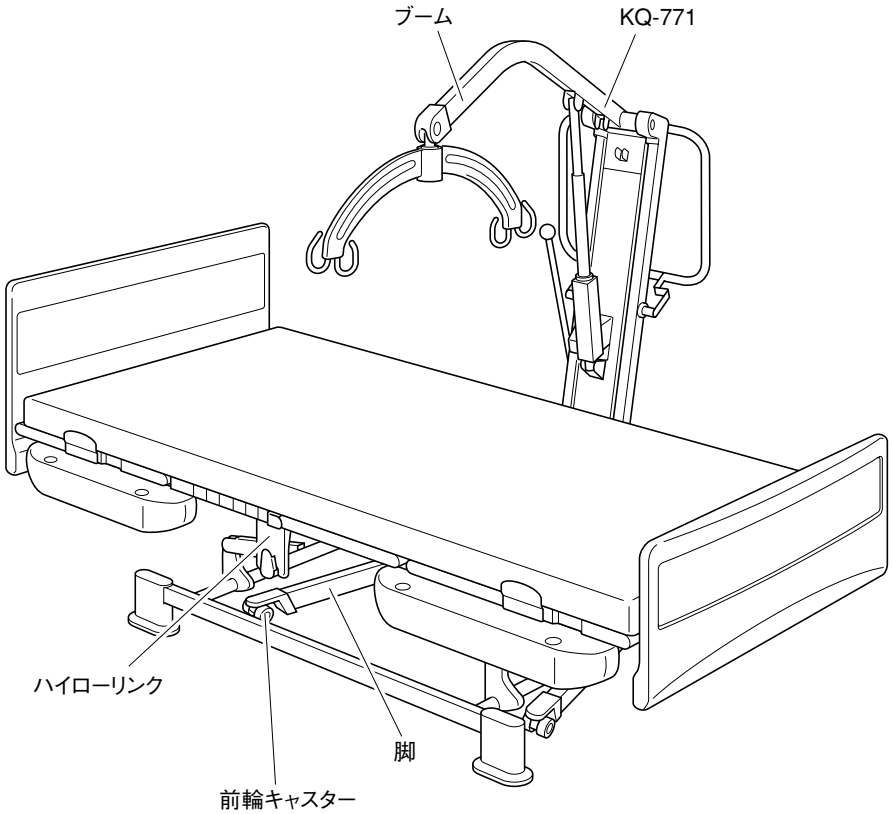
15 介護リフト使用時のご注意

■下記の床走行式電動介護リフトが使用できます。

●KQ-771（下図）

●KQ-770（KQ-028ハイトスペーサーまたは、KQ-029キャスターを使用してください。KQ-39キャスターではKQ-770 との併用はできません。）

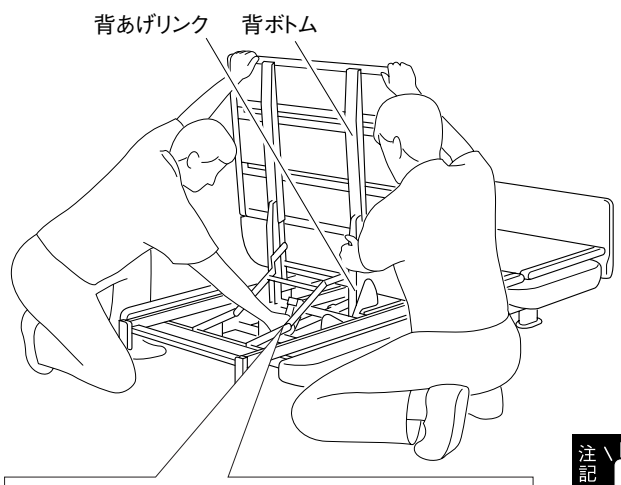
●床走行式電動介護リフトに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。

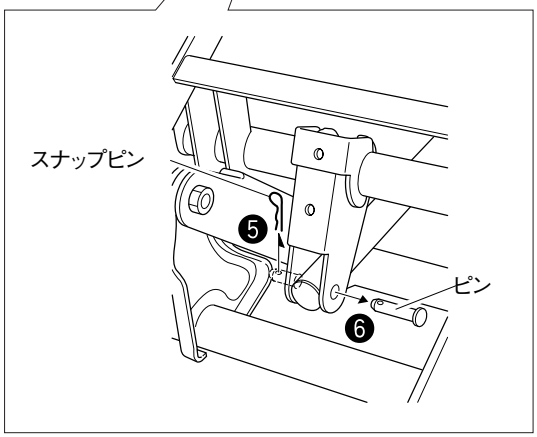


⚠ 警告（けいこく）	●ベッドをあげるとき、ブームをさげるときは、ベッドとブームの間にはさまれてけがをするおそれがありますので、十分注意してください。 ●ベッドの高さをさげるときは、ハイローリンクに脚や前輪キャスターをはさまないように注意してください。はさまれるとけがや破損のおそれがあります。

16 手動による背さげ操作（停電・故障時などの対応）

1.背さげのしかた

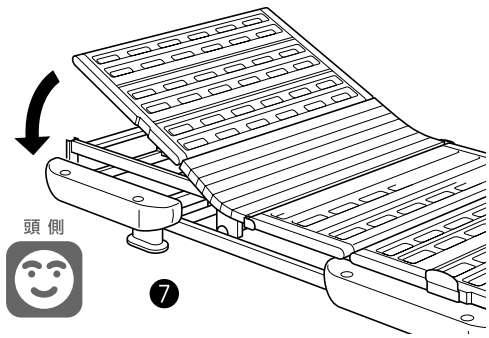




■楽匠ベッドは、停電時やベッドの故障により背ボトムがさげられなくなった場合、手動で背ボトムをさげることができます。
背さげ操作は、以下の手順で行ってください。
停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合、50ページの「故障かな？と思ったら」に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店もしくは弊社コールセンターまでご連絡ください。

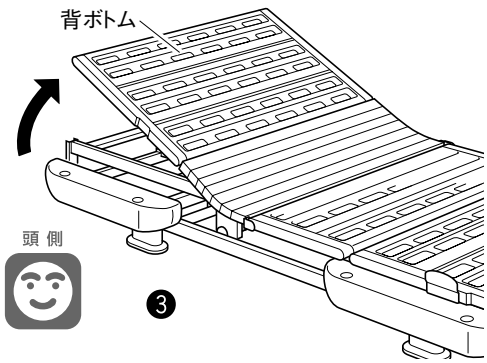
●作業は必ず2人以上で行ってください。
●手や腕をはさまないように注意して行って下さい。

❶コンセントからベッドの電源プラグを抜いてください。
❷療養している方と寝具をベッドから降ろしてください。
❸ヘッドボードを取外してください。
❹背ボトムと背あげリンクを押さえてください。
❺ピンについているスナップピンを取外してください。
❻ピンを取外してください。ピンを取外すと背あげリンクが自由に動くようになります。
❼背あげリンクを手で支えながら背ボトムを降ろしてください。
❽ヘッドボードを取付けてください。



●外したピンおよびスナップピンは復帰の際に使用します。紛失しないよう、保管してください。
●この作業を行ったときは、復帰作業を行ってもとの状態に戻すまで電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。

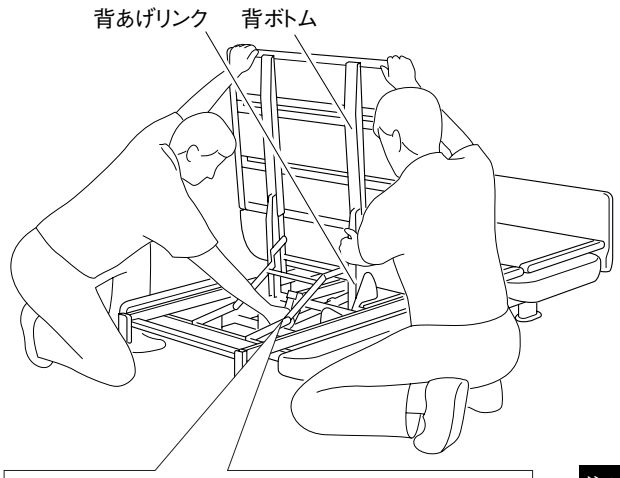
2.戻しかた

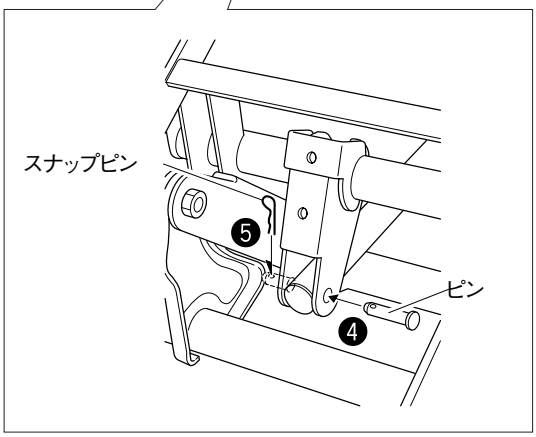


■停電の時には、電源が回復した後に、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、41〜42ページの「組立て後の点検」に従い点検を行ってください。

注記！ **●作業は必ず2人以上で行ってください。**

使用する部品	外したピン、スナップピン各1本





❶療養している方と寝具をベッドから降ろしてください。

❷ヘッドボードを取外してください。

❸背ボトムと背あげリンクを持ちあげ、支えてください。

❹外してあったピンを差込んでください。

注記！ **●必ず図の方向から差込んでください。**

❺ピンが抜けないようにスナップピンを差込んでください。

❻ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。

❼手元スイッチを操作して背ボトムを一番下までさげてください。

❽ヘッドボードを取付けてください。

⚠ 警告

■お手入れは電源プラグを抜いて行ってください。

●誤操作によるはさまれを防止するため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

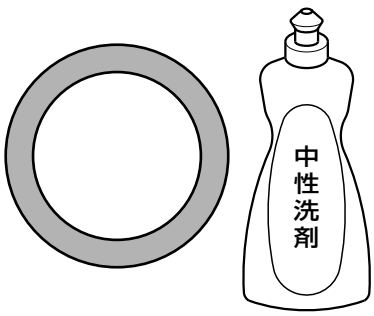
■水をかけないでください。

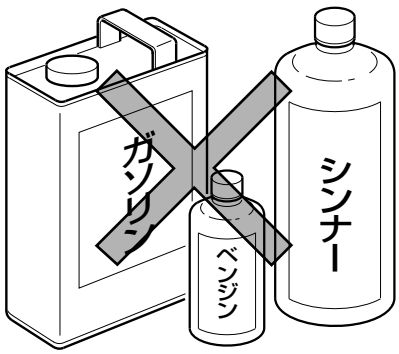
●ベッドに水をかけて掃除しないでください。ショートして感電のおそれがあります。

■ベッド本体

●清拭する場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭き、その後水で浸した布をよくしぼって残った洗剤分をふき取ってください。最後に乾いた布でふき取ってください。

※揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）は使用しないでください。





■サイドレール、介助バー、オーバーテーブル

●上記ベッド本体のお手入れと同様に行ってください。

■サイドサポート

●サイドサポートに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

■マットレス

●使用状態や発汗の程度に応じて2週間～4週間に1回程度、ベッドから降ろし、風通しの良い日陰で干してください。マットレス内部の湿気を取り除くと快適にお使いいただけます。

※マキシーフロートマットレス、パラフロートマットレス、アキュマックスなど、取扱説明書のあるものは、その指示に従ってください。

18 故障かな？と思ったら

■故障でない場合もありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
■チェックをしても正常に動作しない場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社コールセンターまで修理をご依頼ください。
■地震・火災・水害等で被災したベッドは販売店に点検・修理をご依頼ください。
漏電による感電や異常動作によってけがをするおそれがあります。
■エラーコードは、らくらくモーションスイッチのみ表示します。
■下記以外のエラーコードが表示される場合は、弊社コールセンター(61ページ参照)まで連絡してください。

手元スイッチの状態（症状）	電源ランプの点滅の早さ	エラーコード	チェック	処置
●手元スイッチの電源ランプが消えている。	―	―	●コンセントに電気がきていますか？	●コンセントに他の電気機器のプラグを差込んで、電気がきているかを確認してください。
			●電源プラグはコンセントに差込まれていますか？	●電源プラグをコンセントに差込んでください。
			●手元スイッチのコネクターが外れていませんか？	●手元スイッチのコネクターを、コントロールボックスの手元スイッチ差込部に確実に差込んでください。
●手元スイッチの電源ランプがボタンを押したときだけ点滅する。	遅い点滅（1秒毎）	U3、U4	●連続使用しましたか？（アクチュエーターが過熱すると、止まる可能性があります。）	●約20分放置して、アクチュエーターが冷えるのを待ってください。保護機能が働いたためで、故障ではありません。（完全に冷える前に操作をしますと、再度点滅状態になります。完全に冷えるまで放置してください。）
		U1	●可動部分に障害物はありませんか？	●障害物を取り除いてから、ベッド操作を行ってください。
	早い点滅（0.2秒毎）	H4	●アクチュエーターのコネクターが外れていませんか？	●アクチュエーターのコネクターを差しなおしてください。
●手元スイッチの電源ランプが点滅する。	遅い点滅（1秒毎）	U2	●ベッド上で電子治療器などを使用しませんでしたか？	●電子治療器などを使用する場合は、ベッドの電源プラグを抜いてからご使用ください。通信状態の異常を検知する保護機能が働いたためで、故障ではありません。

●修理のご依頼やお問い合わせの際は、製品識別ラベルに表示された番号もあわせてご連絡ください。

19 長期保管と移動(移設)について

保　　管

■長期にわたりベッドをご使用にならないときは、下記の点にご注意ください。

●高温・多湿・ほこりの多い場所を避けてください。温度ー10℃～50℃、湿度30～90%RHの環境で保管してください。

●取扱説明書を紛失しないよう、いつでも見られる場所に保管してください。

1.組みあがった状態でベッドを保管する場合

●背ボトム、足ボトムを水平にしてください。

●ベッドの高さを最低位置までさげてください。

●ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。

●マットレスの上には何も載せないでください。

●ベッドは壁に立て掛けたりせず、ゆかに水平のまま保管してください。

●電源プラグをコンセントから抜いて、はさんだり踏んだりしない場所に束ねておいてください。

2.分解して保管する場合

(ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めします。)

●52～59ページの分解の手順に従って行ってください。

※使用を再開する場合は、41～42ページの手順に従って点検を行ってください。

移動（移設）

1.組みあがった状態でベッドを移動（移設）させる場合

●背や腰を痛めないよう、少なくとも4人で運んでください。

●ベッドで療養している方、寝具、マットレス、オプション（サイドレール、介助バーなど）は降ろしてください。

●アクセサリー枠を持って移動させてください。

●手元スイッチ、電源コード、電源プラグを破損、キズから守るため束ねてベッド本体に固定して運んでください。

2.分解して移動（移設）させる場合

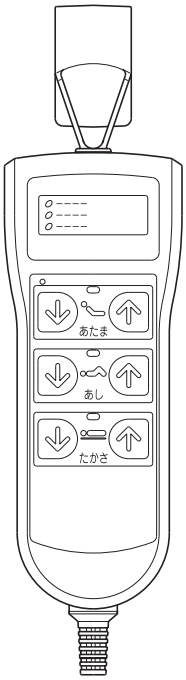
(ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めします。)

●52～59ページの分解の手順に従って行ってください。

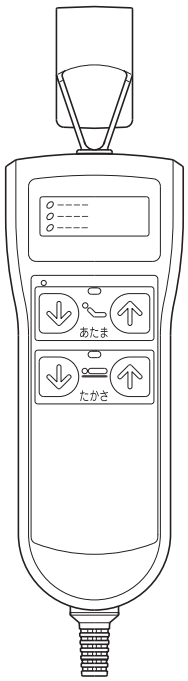
20 ベッドの分解方法

販売店に依頼することをお勧めしますが、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。

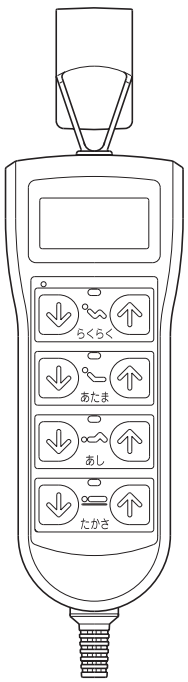
手元スイッチ



（3モータースイッチ）



（2モータースイッチ）



（らくらくモーションスイッチ）

1.オプション・寝具の取外し

❶ベッドのオプション（オーバーテーブル、サイドレールなど）をベッドから取外してください。

❷寝具をベッドから降ろしてください。

❸マットレスをベッドから降ろしてください。

2.手元スイッチの操作

❶電源プラグをコンセントに差込んでください。

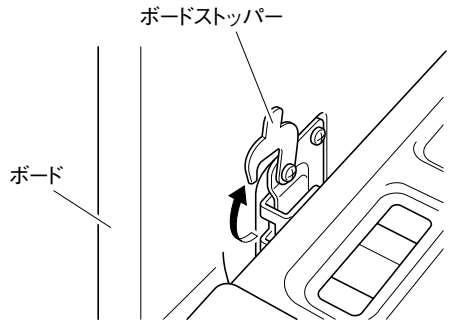
❷ベッドの高さを最低位置までさげてください。

❸足ボトムを最低位置までさげてください。（らくらくモーション、3モータースイッチのみ）

❹背ボトムを約40°まであげてください。

❺電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 警告（けいこく）	●ベッドの分解は、必ずベッド高さをさげた状態で行ってください。ベッドがあがった状態で分解しますと、部品の落下などで思わぬけがや故障のおそれがあります。



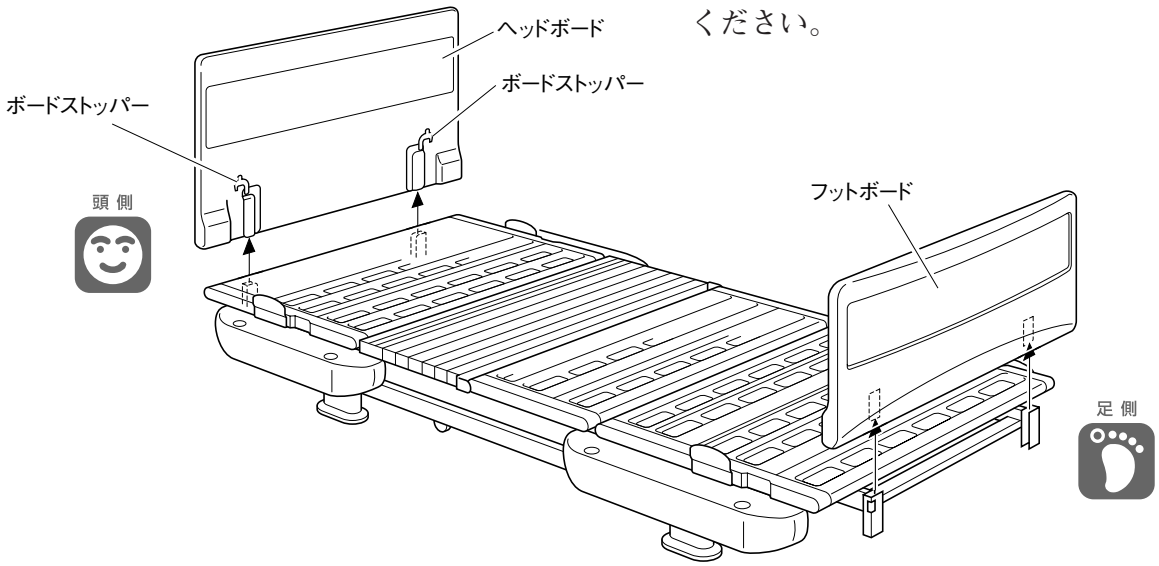
3.ヘッドボード・フットボードの取外し

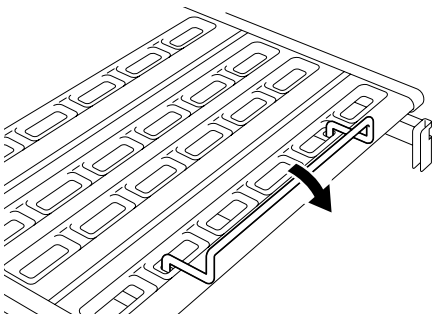
❶ヘッドボード左右のボードストッパーを外してください。

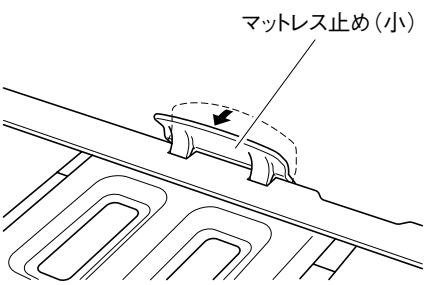
❷ヘッドボードを真上に持ちあげ、取外してください。

❸フットボード左右のボードストッパーを外してください。

❹フットボードを真上に持ちあげ、取外してください。







4.マットレス止めの取外し

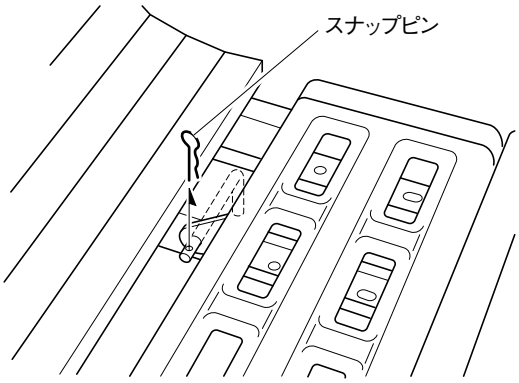
❶マットレス止め（大）の先端を内側に押しながら真上に持ちあげ、欠き部とボトムの長穴を外してください。

❷図のようにマットレス止め（大）を傾けながら真上に持ちあげて取外してください。

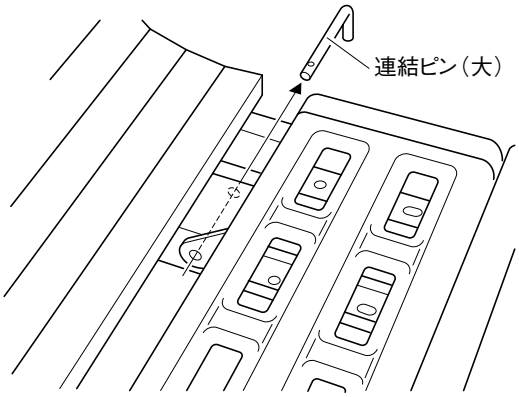
❸マットレス止め（小）を内側に倒してください。

❹マットレス止め（小）を真上に持ちあげ、取外してください。（背ボトム、足ボトム各2カ所）

5.足ボトムの取外し

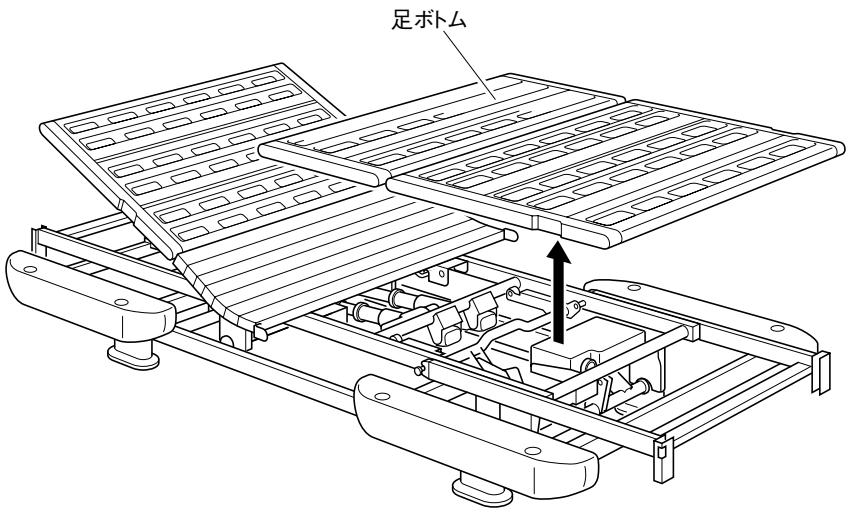


❶スナップピンを抜いて、ブラケットと駆動部を連結している連結ピン（大）を抜き取ってください。



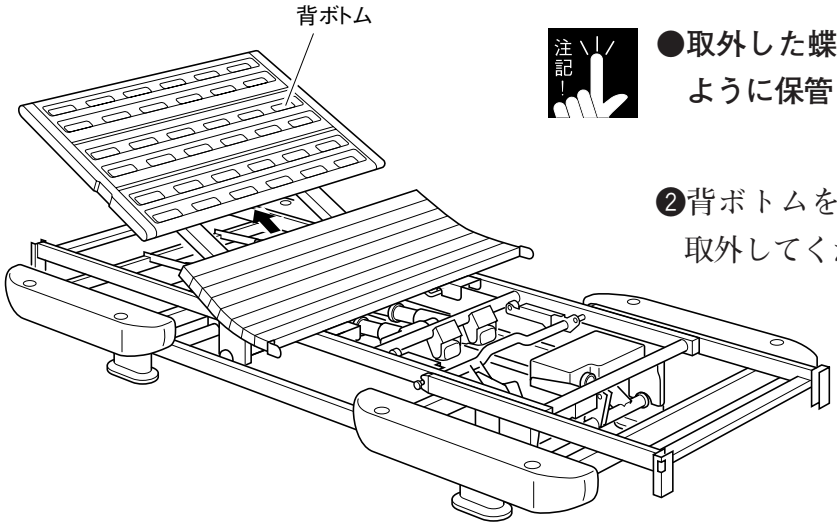
●取外した連結ピン（大）・スナップピンは紛失しないように保管してください。

❷足ボトムを取外してください。



6.背ボトムの取外し

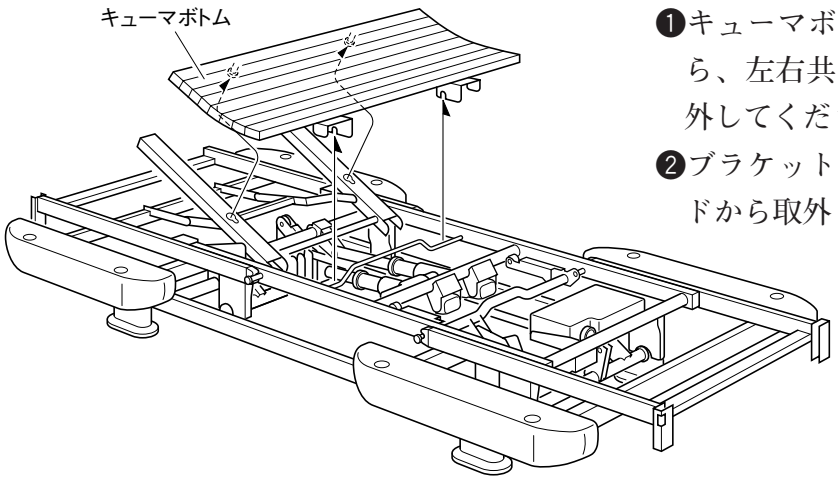
❶背ボトムの裏の蝶ナットを取外し、蝶ボルトを引いて取外してください。



●取外した蝶ボルト・蝶ナットは紛失しないように保管してください。

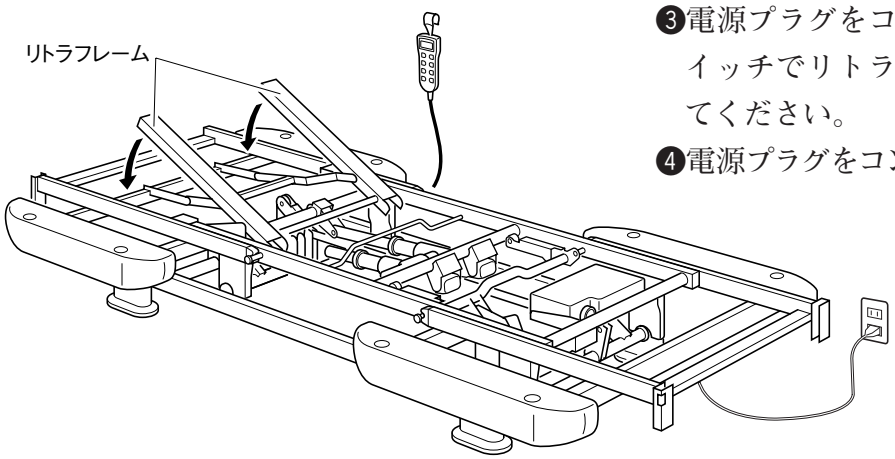
❷背ボトムをリトラフレームから持ちあげ、取外してください。

7.キューマボトムの取外し



❶キューマボトムをベッドの頭側に引きながら、左右共、ボスをリトラフレームから取外してください。

❷ブラケットの溝を、左右共、駆動部のロッドから取外してください。



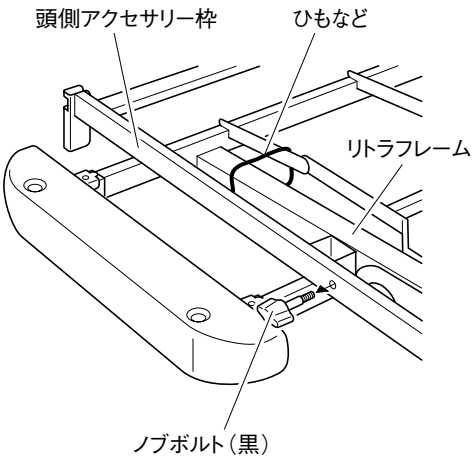
❸電源プラグをコンセントに差込み、手元スイッチでリトラフレームを一番下までさげてください。

❹電源プラグをコンセントから抜いてください。

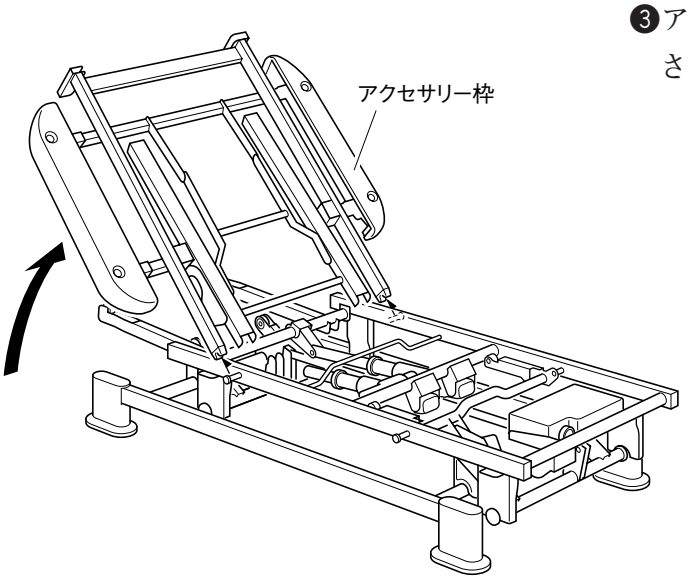
8.アクセサリー枠の取外し

❶アクセサリー枠と駆動部を固定しているノブボルト(黒)を、取外してください。(4カ所)

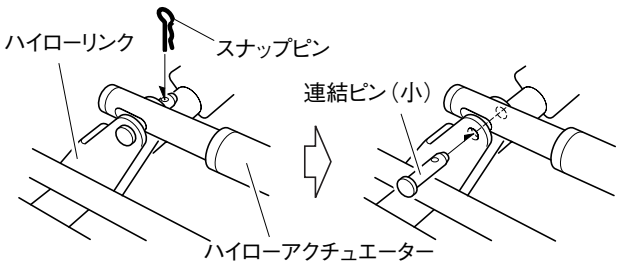
●取外したノブボルト（黒）は紛失しないように保管してください。



❷左図のようにして、頭側アクセサリー枠のリトラフレームをひもなどで固定してください。



❸アクセサリー枠を駆動部から取外してください。



9.駆動部の取外し

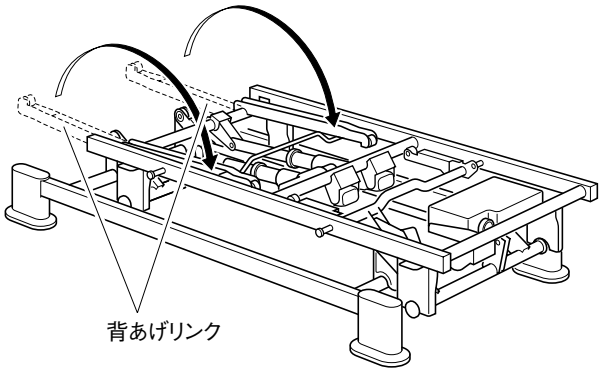
❶スナップピンを抜いて、ハイローアクチュエーターとハイローリンクを連結している連結ピン（小）を取外し、ハイローエクチュエーターをひもなどで固定してください。

注記

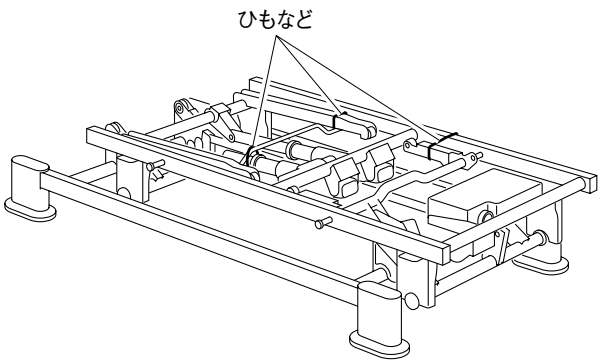
●取外した連結ピン（小）、スナップピンは紛失しないように保管してください。

らくらくモーション・3モーターシリーズ

❷背あげリンクを回転させて内側に入れて、背あげリンクをひもなどで固定してください。

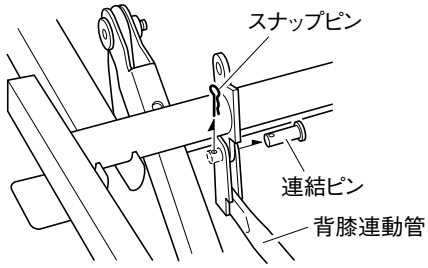


❸膝あげリンクをひもなどで固定してください。

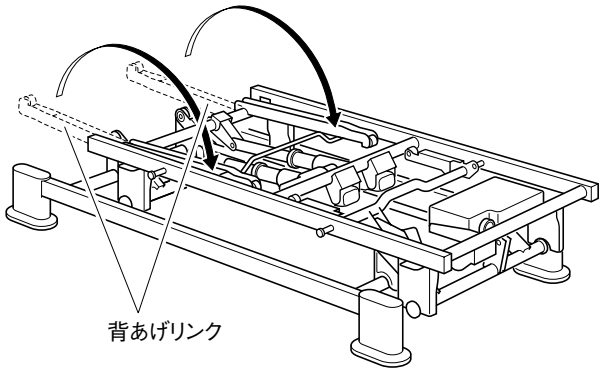


2モーターシリーズ

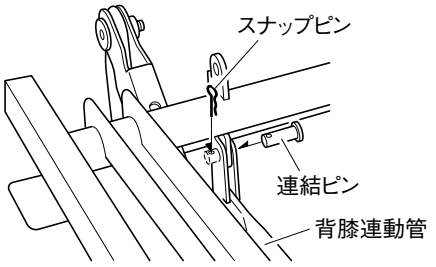
❷2モーターシリーズは背膝連動管の先端（頭側）を連結している連結ピンとスナップピンを取外してください。

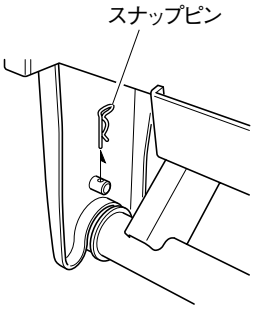


❸背あげリンクを回転させて内側に入れて、背あげリンクをひもなどで固定してください。



❹2モーターシリーズは背膝連動管の先端（頭側）と背あげリンクを❷で取外した連結ピンとスナップピンで連結してください。



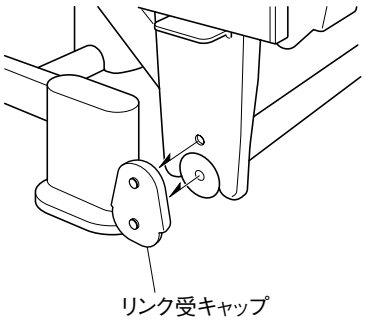


❺ハイローリンク受裏側のスナップピンを取外してください。(4カ所)

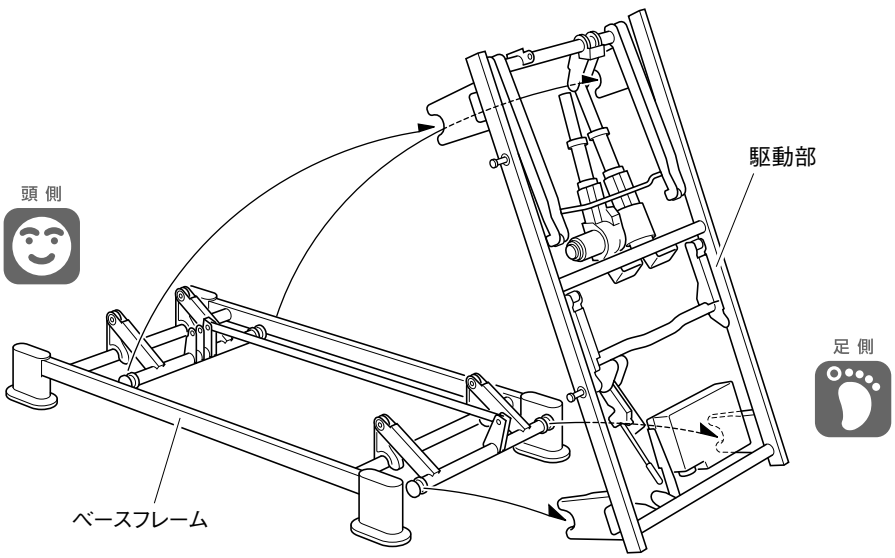
❻リンク受キャップを取外してください。(4カ所)

注記

●取外したリンク受キャップ、スナップピンは紛失しないように保管してください。

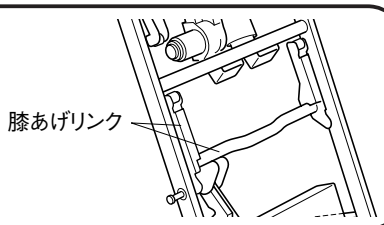


❼図のように駆動部を持ちあげ、ベースフレームより取外してください。



⚠注意

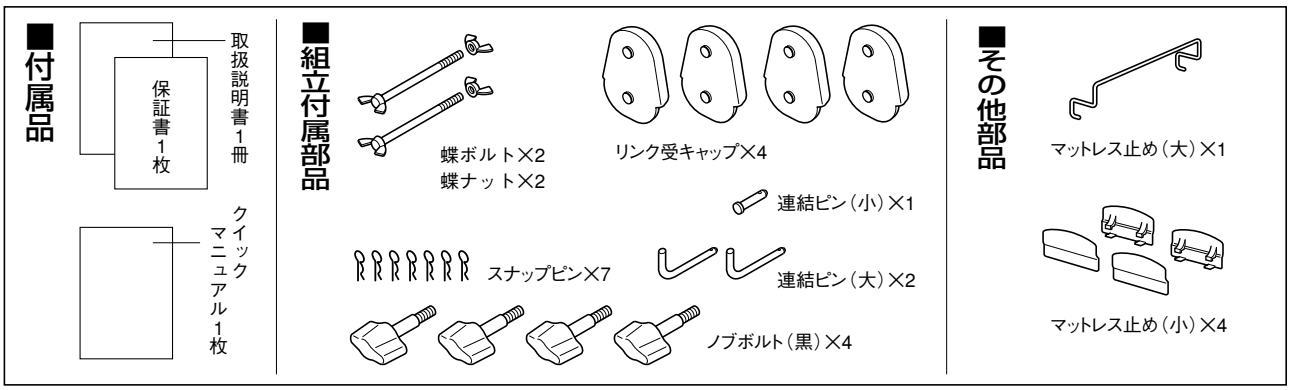
●膝あげリンクを持って運搬や分解を行わないでください。けがや破損の原因になります。



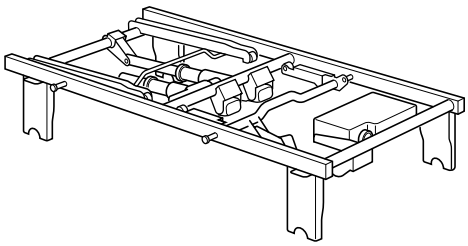
10.付属部品と分解したユニットの保管

■付属品、組付部品、その他部品の保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書および下記の組立付属部品、その他の部品を袋などに入れて駆動部と一緒に保管してください。



❶駆動部

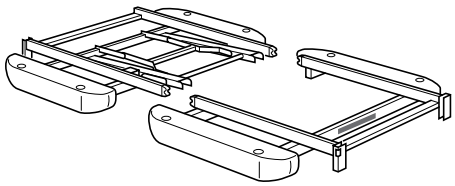


●手元スイッチ、電源コードを束ねて上記の付属部品と一緒に保管してください。

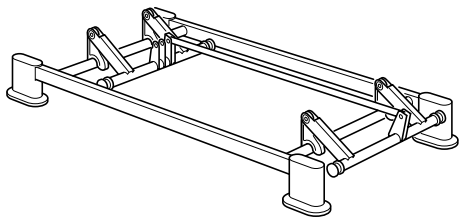
●梱包するときは、取扱説明書、付属品などが梱包されていることを見やすい所に明記しておくと後日、開梱するときに便利です。

●ロングサイズのベッドをご使用の場合は、ロング用のマットレスとマットレス止めも保管してください(27ページ)。

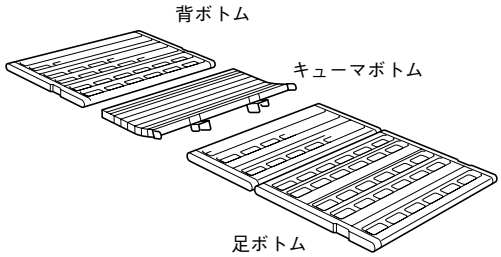
❷アクセサリー枠



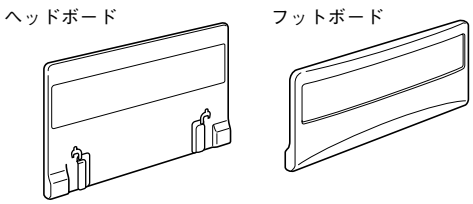
❸ベースフレーム



❹ボトム類



❺ボードセット



注記

●ボードを重ねるときは、金具でボードが傷つかないようにあてものをしてください。

注記

●キューマボトムは逆に曲げないように取扱ってください。

21 アフターサービスについて

1.保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

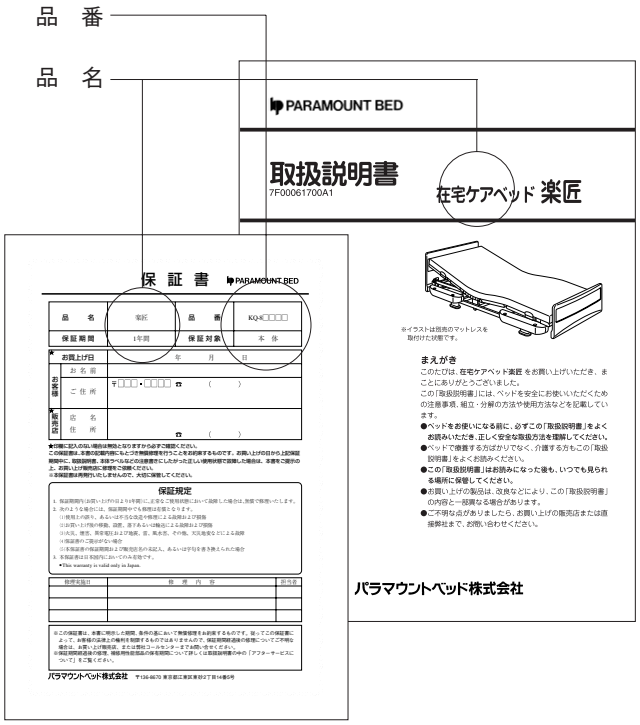
日付の記入が無い場合は、ベッドお買い上げの領収書を保証書と一緒に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

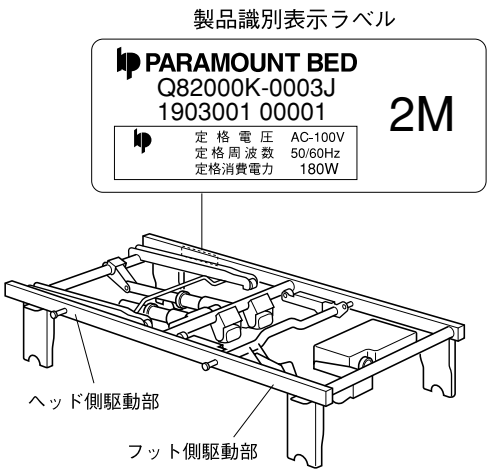
取扱説明書の「18.故障かな？と思ったら」(50ページ）にしたがって調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または弊社コールセンター(61ページ参照)にご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

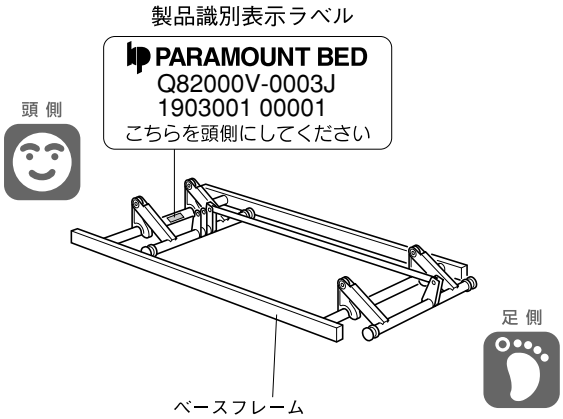
●品名、品番、製品識別表示ラベルの番号



製品識別表示ラベル



製品識別表示ラベル



●お買い上げ日

●故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

●お名前、ご住所および電話番号

保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。
ただし保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間がすぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3.部品の最低保有年数は

弊社では、ベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後6年としております。

4.SGマーク制度について

SGマークはSafety Goods（安全な製品）の略号で、（財）製品安全協会が、構造・材質・使い方などから見て生命または身体に対して危害を与えるおそれのある製品について、安全な製品として必要なことなどを決めた認定基準を定め、この基準に適合している製品にのみ表示されるマークです。

電動介護用ベッドのSGマーク証明書

製品安全協会　対人賠償責任保険付

次のものはSGマークの賠償対象外です。
- SG認定基準に不適合の部品で組み立てたもの及び組み付け不良によるもの
- オプション部品が起因したもの

5.アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げ販売店、または弊社コールセンターまでお問い合わせください。

コールセンター ☎0120-54-8639
受付時間　平日9：00〜17：20（土・日・祝日・夏季休業・年末年始休業を除く）

本　　社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号 東京営業部	☎(03)3648-1171（代）
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181（代）
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211（代）
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合9丁目4番7号	☎(048)852-0707（代）
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間1715番地1	☎(042)795-8800（代）
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600（代）
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791（代）
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311（代）
高松支店	〒761-8031	高松市郷東町223番1	☎(087)881-8800（代）
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131（代）

PARAMOUNT BED

'05.04
製版：株式会社 創英